

# コ・フェスタ(JAPAN国際コンテンツフェスティバル)2012

## 実施報告書



CoFesta

2012





## 目次

### 【はじめに】

コ・フェスタ 2012 実施報告書発行にあたり	2
コ・フェスタとは?	3

### 【運営体制】

コ・フェスタ実行委員会 委員一覧	4
運営組織図／コ・フェスタ実行委員会	5

### 【開催概要】

イベントマップ	6
コ・フェスタ 2012 参加イベント一覧	7

### 【コ・フェスタの「顔」】

トータルディレクション／公式テーマ曲	8
--------------------	---

### 【百人委員会】

百人委員会とは／百人委員会委員一覧	9
委員会社ロゴマーク一覧	10

### 【オフィシャルイベント】

東京ゲームショウ 2012	13
日本ゲーム大賞 2012	14
KYOTO CMEX 2012	15
CEATEC JAPAN 2012	17
Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO	18
第 5 回ロボット大賞	19
第 39 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	20
第 9 回文化庁映画週間	21
第 25 回東京国際映画祭	22
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2012	23
第 9 回東京国際ミュージックマーケット (TIMM)	24
TIFFCOM 2012	
Marketplace for Film & TV in Asia (TIFFCOM)	25
東京国際アニメ祭 2012 秋 (TIAF)	26
CREATIVE MARKET TOKYO 2012 (CMT)	27
デジタルコンテンツ EXPO 2012	28
Inter BEE 2012	29
第 29 回 ATP 賞テレビグランプリ 2012	30
マンガフェスティバル in シンガポール	31

### 【パートナーイベント】

第 3 回国際科学映像祭	33
第 7 回札幌国際短編映画祭	33
第 34 回 PFF ぴあフィルムフェスティバル	34
京都国際マンガ・アニメフェア 2012	34
吉祥寺アニメワンダーランド 2012	35
MPTE AWARDS 2012	
(一社)日本映画テレビ技術協会 創立 65 周年記念表彰式	35
全映協フォーラム 2012 in OSAKA	36
第 3 回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード 2012」	
「International Corporate Film showing 2012」	36
JVA FESTA 2012	37
東京 TV フォーラム 2012 (TTVF2012)	37
LA EigaFest 2012	38
第 1 回ベルリン国際映画祭 in 仙台	38

### 【グランドセレモニー】

コ・フェスタ 2012 グランドセレモニー	39
-----------------------	----

### 【留学生アンバサダー】

コ・フェスタ留学生アンバサダー	40
-----------------	----

### 【一体感の創出】

オフィシャルイベント間の連携	41
公式行事等への実行委員会正副委員長の出席	42

### 【広報】

広報年間スケジュール／	
記者発表会、MWAM 経済産業省表敬訪問	43
制作物	44
メディア露出状況	45

- ・ 氏名は敬称略を基本とします。
- ・ 株式会社、社団法人、財団法人、独立行政法人は、それぞれ(株)、(社)、(財)、(独)と略すことを基本とします。
- ・ 一般社団法人、公益社団法人、一般財団法人、公益財団法人は、それぞれ(一社)、(公社)、(一財)、(公財)と略すことを基本とします。

## はじめに



### コ・フェスタ2012 実施報告書発行にあたり

コ・フェスタ2012 実行委員長 大谷 信義

皆様方におかれましては、「コ・フェスタ2012」の開催に際しまして、多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

コ・フェスタは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画、ファッション、デザインといったコンテンツ産業に関わるイベントが連携し、世界に向けてジャパンコンテンツを発信していくフェスティバルです。2007年から開催されて今年で6年目を迎えたこのフェスティバルは、18の「オフィシャルイベント」、12の「パートナーイベント」、さらに1,000名もの関係者が一堂に会した「グランドセレモニー」など、多種多様なコンテンツフェスティバルとして、国内外より広く多くの方々にご来場いただきました。

本年度のコ・フェスタは、オフィシャルイベントの連携や共催に加え、新たな取組として、オフィシャルイベントのうち4つのコンテンツマーケットを東京・お台場へ統合し、合同で開催いたしました。また、海外メディアへの広報活動を積極的に展開し、日本のコンテンツ情報がより多くの国々やエリアに即時発信していくことで、コンテンツ産業の振興に寄与することができました。

関係各位のご協力のもと、コ・フェスタ2012の実施報告書がここにまとまりましたので、ご一読いただければ幸いです。今年の結果を踏まえ、この6年間のコ・フェスタで培ったコンテンツ業界としての一体感を一段と高めるべく、次の諸準備を進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、コ・フェスタ2012にご参加いただきましたオフィシャルイベント、パートナーイベントの主催者・後援者、及び関係者の皆様方の多大なるご協力に重ねて御礼申し上げます。

大谷 信義

## はじめに

### コ・フェスタとは？

コ・フェスタとは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントが連携して開催する世界最大規模の統合的コンテンツフェスティバルです。

名 称：コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル) 2012

主 催：コ・フェスタ実行委員会

開催場所：日本各地、および海外

2012年総来場者数：約178万人

### 【コ・フェスタ開催の目的】

- 日本の各分野におけるコンテンツを相互に連携させて世界へ向けて発信し、世界中のコンテンツ関係者が日本の数多くのコンテンツに触れる機会を提供する。
- 世界のコンテンツやコンテンツ関係者の新たな交流の場とし、国際共同製作や国際ビジネスの交流に結び付ける。

日本のコンテンツは、アジアをはじめとして海外で高い人気を博し、さらなる成長への可能性を持っている。しかし、未だ十全な流通を果たしきっていない。6年目を迎えたコ・フェスタは多くのオフィシャルイベント、パートナーイベントを実施し、新しいビジネスモデル、マーケットモデルを創出する新しいコ・フェスタとした。

お台場をマーケット展開の主要舞台とし、4つのマーケット、第9回東京国際ミュージックマーケット (TIMM)、TIFFCOM2012 Marketplace for Film & TV in Asia (TIFFCOM)、東京国際アニメ祭 2012 秋 (TIAF)、CREATIVE MARKET TOKYO 2012 (CMT) をお台場に統合して開催し、コ・フェスタ創成時の主要目的である「世界初のコンテンツ産業を統合するフェスティバル」を実現した。平成24年10月24日(水)にはコンテンツ産業全体の国際展開を促進するため、国内のコンテンツ関係者が一堂に会し、海外からの業界関係者・クリエイター・バイヤー・日本のコンテンツ産業関係者・メディア・政府関係機関関係者多数を迎えたセレモニー・交流会を開催した。乃木坂46やMAN WITH A MISSIONら海外に発信できる日本のアーティストも紹介し、新しい日本の創造力も知ってもらうセレモニーとした。日本におけるコンテンツ産業の新感覚を紹介し、国際的販売のための交流を楽しく実行するセレモニーになった。時代は変化する。ネットメディアの台頭は各コンテンツ産業がそれぞれ新しいモデルに転換していくための有効な契機となるはずである。コ・フェスタもさらに未来に向けて新しくなる。

エグゼクティブプロデューサー 重延 浩



## 運営体制 コ・フェスタ実行委員会 委員一覧

2013年3月11日現在（敬称略）

### 【委員長】

大谷 信義 一般社団法人 日本映画製作者連盟 会長  
(松竹株式会社 代表取締役会長)

### 【副委員長】

依田 巽 第25回東京国際映画祭 チェアマン  
一般社団法人 日本経済団体連合会 産業問題委員会  
エンターテインメント・コンテンツ産業部会 部会長

迫本 淳一 松竹株式会社 代表取締役社長

松谷 孝征 特定非営利活動法人 映像産業振興機構 理事長  
一般社団法人 日本動画協会 上席理事  
(株式会社 手塚プロダクション 代表取締役社長)

### 【副委員長兼エグゼクティブ・プロデューサー】

重延 浩 株式会社 テレビマンユニオン 会長 ゼネラルディレクター 取締役

### 【委員】

井上伸一郎 株式会社 角川書店 代表取締役社長

井上 弘 一般社団法人 日本民間放送連盟 会長  
(株式会社東京放送ホールディングス 代表取締役会長)

鶴之澤 伸 一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 会長  
(株式会社バンダイナムコゲームス 代表取締役副社長)

岡田 裕介 東映株式会社 代表取締役社長

角川 歴彦 株式会社 角川グループホールディングス 取締役会長

北川 直樹 一般社団法人 日本レコード協会 会長  
(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役 コーポレート・エグゼクティブCEO)

神保 憲二 独立行政法人 国際観光振興機構 理事 事業本部担当

鷲見 良彦 一般財団法人 デジタルコンテンツ協会 専務理事

野間 省伸 株式会社 講談社 代表取締役社長

松岡 功 一般社団法人 映画産業団体連合会 会長  
(東宝株式会社 名誉会長)

松本 正之 日本放送協会 会長

三宅 正彦 一般社団法人 日本ファッション・ウィーク推進機構 理事長  
(株式会社 TSI ホールディングス 代表取締役会長兼社長)

矢内 廣 ぴあ株式会社 代表取締役社長

横尾 英博 独立行政法人 日本貿易振興機構 (ジェトロ) 副理事長

和崎 信哉 一般社団法人 衛星放送協会 会長  
(株式会社 WOWOW 代表取締役社長)

(以上、50音順)

山根 啓 内閣官房 知的財産戦略推進事務局 次長

南 俊行 総務省 情報流通行政局 審議官

芝田 政之 外務省 大臣官房 国際文化交流審議官

大木 高仁 文化庁 文化部長

今林 顯一 経済産業省 大臣官房 審議官 (IT戦略担当)

加藤 隆司 観光庁 審議官

十河 慎一 東京都産業労働局 観光部長

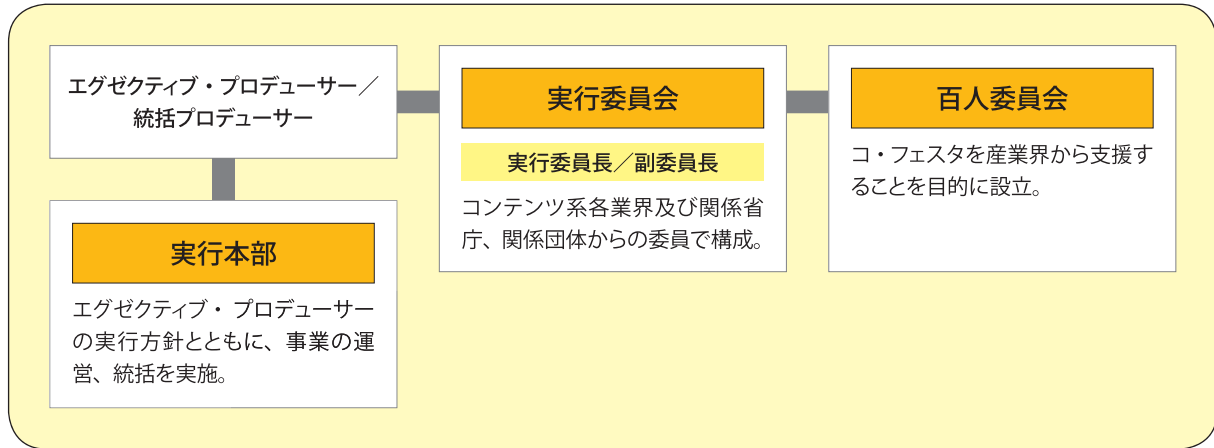
### 【監事】

倉内 均 社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟 理事長  
(株式会社アマゾンラテルナ 代表取締役社長)

島谷 能成 一般社団法人 日本映画テレビ技術協会 会長  
(東宝株式会社 代表取締役社長)

## 運営体制 運営組織図／コ・フェスタ実行委員会

### ■運営組織図



### ■コ・フェスタ実行委員会

コ・フェスタの最高意志決定機関として、エグゼクティブ・プロデューサー等から上申された事項を審議、決議するとともに、コ・フェスタ独自のイベントの実施及び広報活動並びに各業界イベントとの協力体制の強化を行う。

#### ●第1回実行委員会

日時：2012年8月7日(火) 13:00より

場所：東京會館 11F ゴールドルーム

##### 【審議事項】

- 第1号議案 委員長、副委員長、エグゼクティブ・プロデューサー (EP) 専任の件
- 第2号議案 コ・フェスタ2012基本コンセプト承認の件
- 第3号議案 イベントカテゴリー承認の件
- 第4号議案 オフィシャルイベント承認の件

#### ●第2回実行委員会

日時：2013年3月11日(月) 15:00より

場所：東京會館 11F ゴールドルーム

### ■オフィシャルイベント実務担当者連絡会

コ・フェスタ実行本部とオフィシャルイベント事務局代表者が集まり、実務レベルで各イベント間の情報交換を行い、イベント運営及び広報に関し連携を深めることを目的に開催した。

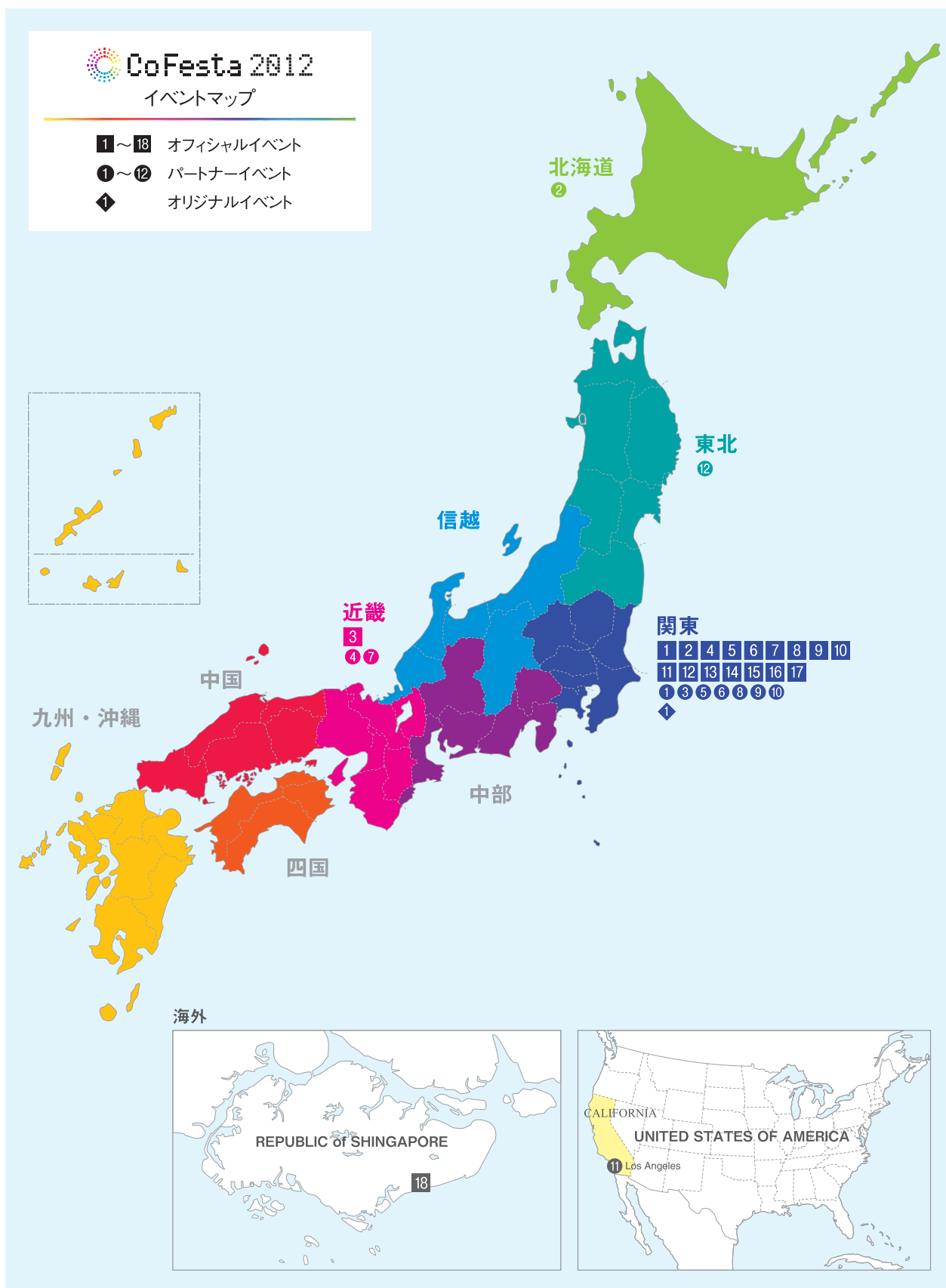
日時：2012年7月17日(火) 14:00より

場所：経済産業省



# CoFesta 2012

## 開催概要 イベントマップ





## 開催概要 コ・フェスタ 2012 参加イベント一覧

### オフィシャルイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	東京ゲームショウ 2012	2012年9月20日(木)～2012年9月23日(日)	幕張メッセ
2	日本ゲーム大賞 2012	2012年9月20日(木)～2012年9月23日(日)	幕張メッセ
3	KYOTO CMEX 2012	2012年9月21日(金)～2012年12月9日(日)	みやこめっせ、京都国際マンガミュージアム 他
4	CEATEC JAPAN 2012	2012年10月2日(火)～2012年10月6日(土)	幕張メッセ
5	Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO	2012年10月13日(土)～2012年10月20日(土)	渋谷ヒカリエ、メルセデス・ベンツ コネクション
6	第5回ロボット大賞	2012年10月17日(水)～2012年10月19日(金)	東京ビッグサイト
7	第39回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	2012年10月18日(木)～2012年10月25日(木)	NHK放送センター
8	第9回文化庁映画週間	2012年10月20日(土)～2012年10月27日(土)	グランドハイアット東京、六本木アカデミーヒルズ49 他
9	第25回東京国際映画祭	2012年10月20日(土)～2012年10月28日(日)	六本木ヒルズをメイン会場に、都内の各劇場及び施設・ホールを使用
10	国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2012	2012年10月22日(月)	東京プリンスホテル
11	第9回東京国際ミュージックマーケット(TIMM)	2012年10月23日(火)～2012年10月25日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
12	TIFFCOM 2012 Marketplace for Film & TV in Asia(TIFFCOM)	2012年10月23日(火)～2012年10月25日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
13	東京国際アニメ祭2012 秋(TIAF)	2012年10月23日(火)～2012年10月25日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
14	Creative Market Tokyo 2012(CMT)	2012年10月23日(火)～2012年10月25日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
15	デジタルコンテンツ EXPO 2012	2012年10月25日(木)～2012年10月27日(土)	日本科学未来館
16	Inter BEE 2012	2012年11月14日(水)～2012年11月16日(金)	幕張メッセ
17	第29回ATP賞テレビグランプリ 2012	2012年12月12日(水)	都市センターホテル
18	マンガフェスティバル in シンガポール	2013年2月15日(土)～2013年2月17日(日)	アートハウス、紀伊国屋書店シンガポール本店、 マンダリン オーチャード(シンガポール)

### パートナーイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	第3回国際科学映像祭	2012年8月1日(水)～2012年9月30日(日)	日本国内の科学館・プラネタリウム館・シアターなど 54施設
2	第7回札幌国際短編映画祭	2012年9月12日(水)～2012年9月17日(月)	札幌東宝プラザ、シアターキノ
3	第34回 PFFびあフィルムフェスティバル	2012年9月18日(火)～2012年9月28日(金)	東京国立近代美術館フィルムセンター
4	京都国際マンガ・アニメフェア 2012	2012年9月21日(金)～2012年9月23日(日)	京都市勤業館「みやこめっせ」、平安神宮、 京都国際マンガミュージアム
5	吉祥寺アニメワンダーランド 2012	2012年9月29日(土)～2012年10月8日(月・祝)	吉祥寺駅周辺(井の頭公園ステージ・武蔵野商工会館・ 吉祥寺シアター)
6	MPTE AWARDS 2012～一般社団法人日本映画テレビ技術協会 創立65周年記念 表彰式～	2012年10月25日(木)	六本木アカデミーヒルズ49
7	全映協フォーラム 2012inOSAKA	2012年11月8日(木)	大阪市中央公会堂
8	第3回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2012」 「International Corporate Film showing 2012」	2012年11月26日(月)～2012年11月29日(木)	富士フィルム西麻布本社ホール他
9	JVA FESTA 2012	2012年11月29日(木)～2012年12月2日(日)	芸能花伝舎「体育館」
10	東京TVフォーラム2012(TTVF2012)	2012年12月10日(月)～2012年12月12日(水)	都市センターホテル
11	LA EigaFest 2012	2012年12月14日(金)～2012年12月16日(日)	Egyptian Theatre(アメリカ、ハリウッド)
12	第1回ベルリン国際映画祭 in 仙台	2013年3月28日(木)～2013年3月31日(日)	せんだいメディアテーク、東京エレクトロンホール宮城

### オリジナルイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	コ・フェスタ 2012 グランドセレモニー	2012年10月24日(水)	Zepp DiverCity TOKYO(ゼップダイバーシティ東京)

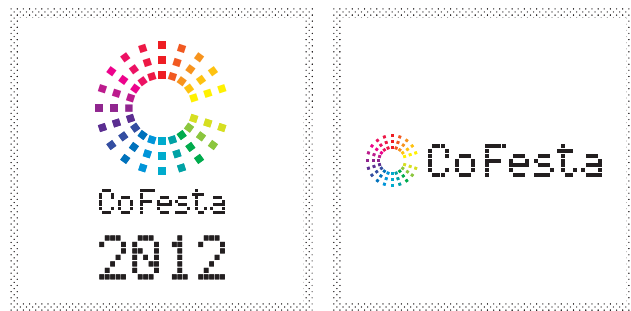


佐藤可士和

### ■トータルディレクション

CoFestaシンボルマークの制作をはじめ、トータルでのアートディレクションを手がけたのが佐藤可士和氏である。トップクリエイターとして活躍する彼が、コ・フェスタのアートディレクションのテーマとして選んだのが「Multi Contents Link」。

「Multi Contents Link」



あらゆるコンテンツが相互に連携、影響し合いながらリンクして、新たな可能性を創造していく様をContentsの頭文字Cをモチーフにシンボライズ。日本からグローバルに発信する新しいプロジェクトのイメージを斬新且つインパクトをもって表現した。

カラーリングの考え方はマルチカラーグラデーションを基本とし、多彩な色相のグラデーションで展開することにより、様々な人、情報、メディアが集まり、交流しながら広がるコミュニケーションの輪の楽しさを象徴している。



久石 譲

### ■公式テーマ曲

公式テーマ曲「Links」は2007年に官民連携プロジェクトとしてコ・フェスタの開催が決定され、JAPANコンテンツの祭典にふさわしいテーマ曲をという願いから、現代日本を代表する作曲家久石譲氏に作曲を依頼。同年のコ・フェスタ オープニング・セレモニーにて初披露された。久石氏指揮による100人編成の東京フィルハーモニー交響楽団による「Links」のパフォーマンスは、様々なコンテンツの頭文字であるCマークを中心に、集散拡散しながら相互に連携リンクする様を圧倒的な演奏力にて見事に表現された作品となった。



## 百人委員会 百人委員会とは／百人委員会委員一覧

### ■百人委員会とは

正式名称：コ・フェスタ(JAPAN国際コンテンツフェスティバル)百人委員会(通称：百人委員会)

設立主旨：コ・フェスタを産業界から支援することを目的とする。

2012年度活動内容：グラウンドセレモニー会場にて委員一覧・企業ロゴマーク一覧パネル掲載、グラウンドセレモニーへの参加、コ・フェスタ公式ガイドおよびウェブサイトへの委員一覧掲載協力。

### ■委員一覧

【委員長】 西田 厚 聡 (株)東芝 取締役会長

2012年10月24日現在 百人委員会就任企業110社

伊藤 源 嗣 (株)IHJ 相談役	俣 木 盾 夫 (株)電通 相談役
和田 修 治 (株)アサツーディ・ケイ コンテンツ本部 本部長	岡 田 裕 介 東映(株) 代表取締役社長
木村 伊 量 朝日新聞社 代表取締役社長	高 橋 浩 東映アニメーション(株) 取締役会長
荻 田 伍 アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役会長兼 CEO	浅 野 碩 也 東海テレビ放送(株) 代表取締役社長
小林 栄 三 伊藤忠商事(株) 取締役会長	鳥 原 光 憲 東京ガス(株) 取締役会長
亀 井 淳 (株)イトーヨーカ堂 代表取締役社長	新 田 良 一 (株)TBSテレビ 取締役
長 瀬 文 男 (株)イマジカ・ロボットホールディングス 代表取締役会長 グループCEO	西 室 泰 三 (株)東芝 相談役
菅 田 史 朗 ウシオ電機(株) 代表取締役社長	島 谷 能 成 東宝(株) 代表取締役社長
佐 藤 寿 美 (株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長	林 田 洋 (株)東北新社 取締役会長
篠 田 和 久 王子ホールディングス(株) 代表取締役会長	藤 田 弘 道 凸版印刷(株) 相談役
川 崎 秀 一 沖電気工業(株) 代表取締役社長	小 宮 秀 之 (株)トーハン 取締役 海外事業部門担当
井上伸一郎 (株)角川書店 代表取締役社長	張 富 士 夫 トヨタ自動車(株) 取締役会長
辻 本 憲 三 (株)カブコン 代表取締役会長	荒 木 高 伸 名古屋テレビ放送(株) 代表取締役社長
福 井 澄 郎 関西テレビ放送(株) 代表取締役社長	佐 藤 直 樹 日活(株) 代表取締役社長
木 下 直 哉 (株)木下ホールディングス 代表取締役社長兼 グループC.E.O	重 久 吉 弘 日揮(株) 日揮グループ代表 名誉会長
依 田 巽 ギャガ(株) 代表取締役会長兼 社長 CEO	長 田 公 平 (株)日経BP 代表取締役社長
御手洗富士夫 キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO	丹 羽 信 一 (株)日本経済広告社 代表取締役社長
村 瀬 治 男 キヤノンマーケティングジャパン(株) 代表取締役会長	平 田 保 雄 (株)日本経済新聞社 取締役会長
三 宅 占 二 キリンホールディングス(株) 代表取締役社長	大 西 賢 日本航空(株) 代表取締役会長
小 池 武 久 キングレコード(株) 顧問	原 康 晴 日本コロムビア(株) 代表取締役社長 兼 最高執行責任者
柿 原 康 晴 (株)コーエーテックモゲームス 代表取締役会長	岡 村 正 日本商工会議所 会頭
藤 原 浩 コダック(株) 代表取締役社長	大久保好男 日本テレビ放送網(株) 代表取締役 社長執行役員
田中富美明 (株)コナミデジタルエンタテインメント 代表取締役社長	矢 野 薫 日本電気(株) 取締役会長
坂 根 正 弘 (株)小松製作所 取締役会長	氏 家 純 一 野村ホールディングス(株) 常任顧問
柄 澤 哲 夫 (株)ゴンゾ 執行役員社長 兼 CEO	成 田 純 治 (株)博報堂 代表取締役会長
熊 坂 隆 光 (株)産業経済新聞社 代表取締役社長	大 森 壽 郎 (株)博報堂DYメディアパートナーズ 代表取締役社長
渡 文 明 JXホールディングス(株) 相談役	平 井 文 宏 (株)パップ 代表取締役会長
折 井 栄 二 ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社 ローカルアクリジション&プロダクション本部長	中 村 邦 夫 パナソニック(株) 相談役
片 山 幹 雄 シャープ(株) 取締役会長	石 川 祝 男 (株)バンダイナムコホールディングス 代表取締役社長
迫 本 淳 一 松竹(株) 代表取締役社長	矢 内 廣 びあ(株) 代表取締役社長
市 川 秀 夫 昭和電工(株) 代表取締役社長	深 澤 祐 二 東日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長
高 田 真 治 スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長	古 川 一 夫 (株)日立製作所 特別顧問
和 田 洋 一 (株)スクウェア・エニックス・ホールディングス 代表取締役社長	林 瑞 峰 (株)ヒューマックスシネマ 代表取締役社長
米 倉 弘 昌 住友化学(株) 代表取締役会長	後藤由多加 (株)フォーライフミュージックエンタテイメント 代表取締役社長
岡 素 之 住友商事(株) 相談役	秋 草 直 之 富士通(株) 相談役
花 岡 清 二 セイコーエプソン(株) 相談役	豊 田 皓 (株)フジテレビジョン 代表取締役社長
大 橋 洋 治 全日本空輸(株) 取締役会長	古 森 重 隆 富士フイルム(株) 代表取締役会長・CEO
中 鉢 良 治 ソニー(株) 取締役 代表執行役 副会長	大 島 康 広 (株)プラザクリエイト 代表取締役社長
毛 塚 善 文 ソニーPCL(株) 代表取締役社長	桐 畑 敏 春 (株)ポニーキャニオン 代表取締役社長
北 川 直 樹 (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役	菅 井 敦 (株)ホリプロ 取締役
コーポレート・エグゼクティブ CEO	朝 比 奈 豊 (株)毎日新聞社 代表取締役社長
大 塚 徹 哉 (株)第一通信社 代表取締役社長	河 内 一 友 (株)毎日放送 代表取締役社長
山 内 隆 司 大成建設(株) 代表取締役社長	齋 藤 宏 みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問
北 島 義 俊 大日本印刷(株) 代表取締役社長	岩 沙 弘 道 三井不動産(株) 代表取締役会長
鈴木 茂 晴 (株)大和証券グループ本社 取締役会長	野 間 口 有 三菱電機(株) 名誉相談役
富山幹太郎 (株)タカラトミー 取締役社長	畔 柳 雄 三 (株)三菱東京UFJ銀行 相談役
徳 光 彰 二 中京テレビ放送(株) 代表取締役社長	辻 慎 吾 森ビル(株) 代表取締役社長
大 石 幼 一 中部日本放送(株) 代表取締役社長	高 原 豪 久 ユニ・チャーム(株) 代表取締役社長
石 橋 誠 一 (株)イチクエンタテインメント 代表取締役社長	小 池 一 彦 ユニバーサルミュージック合同会社 CEO 兼 社長
吉 田 博 昭 (株)ティー・ワイ・オー 代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者	吉 野 伊 佐 男 吉本興業(株) 代表取締役会長
杉 山 知 之 デジタルハリウッド(株) デジタルハリウッド大学学長	白 石 興 二 郎 (株)読売新聞グループ本社 代表取締役社長
小 谷 勝 テレビ愛知(株) 代表取締役社長	望 月 規 夫 読賣テレビ放送(株) 代表取締役社長
早 河 洋 (株)テレビ朝日 代表取締役社長	白 石 弘 幸 琉球放送(株) 代表取締役社長
上 田 克 己 テレビ大阪(株) 特別顧問	石 坂 敬 一 (株)ワーナーミュージック・ジャパン 代表取締役会長 兼 CEO
菅 谷 定 彦 (株)テレビ東京 相談役	和 崎 信 哉 (株)WOWOW 代表取締役社長
	塚 本 能 交 (株)ワコールホールディングス 代表取締役社長

---

## CoFesta2012 Official Events

---

コ・フェスタ オフィシャルイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベント。

---

東京ゲームショウ 2012

---

日本ゲーム大賞 2012

---

KYOTO CMEX 2012

---

CEATEC JAPAN 2012

---

Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO

---

第5回ロボット大賞

---

第39回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

---

第9回文化庁映画週間

---

第25回東京国際映画祭

---

国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2012

---

第9回東京国際ミュージックマーケット (TIMM)

---

TIFFCOM 2012 Marketplace for Film & TV in Asia (TIFFCOM)

---

東京国際アニメ祭 2012 秋 (TIAF)

---

CREATIVE MARKET TOKYO 2012 (CMT)

---

デジタルコンテンツ EXPO 2012

---

Inter BEE 2012

---

第29回 ATP 賞テレビグランプリ 2012

---

マンガフェスティバル in シンガポール

---

# オフィシャルイベント TOKYO GAME SHOW 2012

名称：東京ゲームショウ 2012  
 会期：2012年9月20日(木)～9月23日(日)  
 会場：幕張メッセ  
 主催：(一社) コンピュータエンターテインメント協会 (CESA)  
 共催：日経BP社  
 後援：経済産業省  
 対象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般  
 来場者：223,753人

## ■内容

過去最多の総来場者数を記録した昨年を上回る、過去最多の22万3753人が東京ゲームショウ2012へ来場した。とくに、一般公開初日の9月22日(土)には、一日で9万4989人の来場者を記録し、1日単独の数でも、過去最多だった昨年の8万6251人をさらに大きく上回った。

19の国や地域から、209社の企業、団体が出展した東京ゲームショウ2012では、各社からの最新情報や自信作が次々に発表・展示され、また趣向を凝らしたステージイベントで、国内外の多くの来場者を魅了。

展示では、よりゲーム性や表現力を高めたスマートフォン向けゲーム、ソーシャルゲームが存在感を高める一方で、新型ゲーム機向けゲームや、期待の続編なども発表され、さまざまなプラットフォームに向けたゲームが一堂に会した。

「アジアNo.1の情報網羅性」と「世界最大規模のイベント」という中期ビジョンを掲げている東京ゲームショウでは、本年はイラン、インドネシア、ベトナム、マレーシアからの8つの企業を迎えた「アジアニュースターズコーナー」が注目を集めたほか、中国、韓国、インドネシア、日本のキーパーソンが、アジア圏のゲームビジネスの将来像を語った「アジア・ゲーム・ビジネス・サミット 2012」にも多くの聴講者が参加し、アジア諸国・地域との連携をさらに強化することができた。

特に、今年は、米国、カナダ、オーストラリア、UAEから9社9名のバイヤーを招聘。会場を展示ホールから国際会議場のビジネスミーティングコーナーに移し、専用の商談スペースを確保して、国内ゲーム企業との本格的な商談会をビジネスデイの2日間に渡り実施。また、JETRO主導の海外ビジネス最新事情セミナーを共同開催するなど、海外のビジネスパーソンを積極的に誘引した。

## ●規模

出展社数：209社 (国内126社、海外83社)  
 展示小間数 1,609小間  
 プレス来場者数：35カ国 3,988人  
 出展タイトル：1,043タイトル (事前登録数/過去最多)

## ●出展コーナー

一般展示／海外パビリオン／ゲームデバイス／PCゲーム／スマートフォン・  
 ソーシャルゲーム／ビジネスソリューション／ゲームスクール／物販／  
 クラウド・データセンターパビリオン／ビジネスミーティング／ファミリー／  
 アジアニュースターズ

## ●アジアに向けた施策

- ・アジア・ゲーム・ビジネス・サミット (登壇：韓国、中国、インドネシア、日本)
- ・メディアパートナー (台湾、韓国、中国、香港、インドネシア)
- ・アジアニュースターズコーナー
- ・国際ビジネス相談コーナー
- ・TGSビジネスマッチングシステム (アジア・ビジネス・ゲートウェイ)
- ・ビジネスミーティングエリア
- ・インターナショナルパーティー
- ・eスポーツゲーム競技会「Cyber Games Asias」
- ・タイ開催イベント
- ・TGSオフィシャルツアー／留学生企画

## ●主催者企画

- ・公式動画配信チャンネル
- ・無線LANエリア／すれちがい通信&対戦ゲーム広場
- ・コスプレ企画
- ・Smartphone Special Area
- ・3Dテレビ・3Dモニター体験コーナー
- ・ゲーム歴史博物館
- ・センス・オブ・ワンダーナイト 2012







名称：日本ゲーム大賞2012  
 会期：2012年9月20日(木)～9月23日(日)  
 会場：幕張メッセ「東京ゲームショー2012」イベントステージ  
 主催：(一社)コンピュータエンターテインメント協会(CESA)  
 後援：経済産業省  
 対象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般  
 来場者：約2,500人

### ■内容

東京ゲームショー2012会期中3日間にわたり開催された「日本ゲーム大賞2012発表授賞式」は、日本を代表するトップクリエイターが一堂に介し、業界関係者、一般来場者など多くの出席者のもと盛大に執り行われた。

#### ●「経済産業大臣賞」(発表授賞式：9月20日(木) 16:00～16:20)

日本の家庭用ゲーム産業の発展に寄与された人物ならびに制作チーム等の団体に贈られる賞。本年は、「ニンテンドー3DS開発チーム」が選出された。

##### <受賞理由>

携帯ゲーム機としてはじめて裸眼3D液晶ディスプレイを搭載。ゲーム表現の可能性を広げたハードウェアを提供し、新たなゲームコンテンツの登場を促す土壌を開拓したことでゲームの新たな道を切り開いた点が評価されての受賞となった。

#### ●年間作品部門(発表授賞式：9月20日(木) 16:20～18:10)

対象作品：2011年4月1日から2012年3月31日までの間、日本国内でリリースされた作品。年間を代表するにふさわしい最も優れた作品に贈られる「大賞」には、株式会社ソニー・コンピュータエンターテインメントの「GRAVITY DAZE/重力的眩暈：上層への帰還において、彼女の内宇宙に生じた摂動」が選出された。今年度は、多くの作品がユーザーからの指示を集める激戦となったが、「新規性、斬新性」に富み、今後のゲームソフトの在り方に一石を投じる事のできる作品と高く評価され、見事対象を受賞した。

#### ●「アマチュア部門」(発表授賞式：9月22日(土) 10:30～11:30)

対象作品：アマチュアの方が制作したオリジナルの未製品化作品。昨年の約1.7倍の応募総数328作品の中から、業界誌編集者、クリエイターによる審査を経て、佳作6作品、優秀賞5作品の合計11作品が受賞作品として選出された。優秀賞5作品の中から、HAL名古屋の「Reco」が最も優れた作品として「大賞」を受賞した。

#### ●フューチャー部門(発表授賞式：9月23日(日) 12:00～13:30)

対象作品：「東京ゲームショー2012」に出展、発表された未発売作品。「東京ゲームショー2012」会期中に来場者投票を実施。その後、日本ゲーム大賞選考委員による審査を経て、今後が期待される作品として、10作品が選出された。

#### ●ゲームデザイナーズ大賞(発表授賞式：9月20日(木) 16:45～17:00)

対象作品：2011年4月1日から2012年3月31日までの間、日本国内でリリースされた作品。第3回目となる本賞の受賞作品には、「風ノ旅ビト」(開発元：thatgamecompany./日本の発売、販売元：株式会社ソニーコンピュータエンターテインメント)が選出された。

##### 【概要】

クリエイターが作り手の視点から高い独創性を持ち且つ、ゲームの歴史にその名を刻むべき革新的な作品を選出、称える賞として設けられた賞。桜井政博氏を審査員長に同賞の趣旨に賛同頂いた日本を代表する12名のクリエイターによる審査員によって受賞作品を決定。

**オフィシャルイベント**
**KYOTO CMEX 2012**

名称：KYOTO Cross Media Experience 2012 (KYOTO CMEX2012)  
 会期：2012年9月21日(金)～12月9日(日)  
 会場：みやこめっせ(京都市勧業館)／京都国際マンガミュージアム／  
 京都商工会議所／東映京都撮影所／松竹撮影所／東映太秦映画村など  
 主催：KYOTO Cross Media Experience 実行委員会  
 対象：国内外のコンテンツ産業関係者、若手クリエイターやクリエイターを目指す大学生、コンテンツに関心のある方など  
 来場者：88,005人

**■内容**
**●マンガ・アニメ総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア(略称：京まふ)2012」**

日時：9月21日(金)～23日(日)

※ビジネスデー：21日、パブリックデー：22～23日

会場：京都市勧業館(みやこめっせ)、平安神宮

概要：30以上のマンガ・アニメ関連企業・団体によるブース出展や人気作品のイベントを10ステージ以上開催した。更に、関西圏企業とマンガ・アニメ作品をタイアップした限定商品を18商品30種類開発し、フェア内で展示、販売を行った。

また、平安神宮ではミルキィホームズ、水樹奈々によるライブを開催した。

**●京都版トキワ荘事業「マンガ出張編集部」**

日時：9月21日(金)

会場：京都市勧業館(みやこめっせ) 京都国際マンガ・アニメフェア会場内

概要：11出版社27編集部が出展。自分の作品を持ち込むマンガ家志望者がマンガ雑誌の編集者等からアドバイスを受ける場を設定した。

**●レセプション**

日時：9月21日(金)

会場：平安神宮会館

概要：KYOTO CMEXを国内外に発信するとともに、コンテンツ産業に携わる国内外のトップランナーやクリエイター等の分野横断的な人材交流を目的に開催した。

**●京都国際マンガミュージアムイベント「ガイナックス流アニメ作法」等**

日時：9月22日(土)～12月9日(日) ※展示会自体は12月24日(水・祝)まで

会場：京都国際マンガミュージアム

概要：「天元突破グレンラガン」等を生み出したアニメ制作会社ガイナックスが30年間にわたり築き上げてきたコンテンツの成長過程を展示した「ガイナックス流アニメ作法」を開催したほか、デンマークからクリエイターを招き、デンマークのコンテンツ業界の状況や、人材育成法等について講演を行った。

**●京都太秦シネマフェスティバル**

日時：10月～12月

場所：太秦地域一帯

概要：撮影所、商店街など「映画のまち 京都太秦」全体で、学生・若手クリエイターの「コンテンツ市」、プロ指導による子ども映画制作ワークショップ、隠れたシネマスポットを巡るシネマウォーク、歴史創作コンテンツファンが集い交流するイベント等を開催し、太秦を基盤とした「コンテンツコミュニティ」の形成を図った。

**●コンテンツクロスメディアセミナー**

日時：10月18日(火)、10月23日(火)、11月5日(月)、12月9日(日)

場所：京都商工会議所 ※12月9日(日)のみ東映太秦映画村「中村座」

概要：コンテンツ業界並びに異業種の人材交流のため、クリエイティブ産業の業界や著名人を招き、セミナーを実施。セミナー終了後には、講師を招いての交流会を開催した。



京都国際マンガ・アニメフェア 2012



マンガ出張編集部



マンガミュージアム特別展



京都太秦シネマフェスティバル



コンテンツクロスメディアセミナー





天橋立コスプレイベント GO-TAN 2012



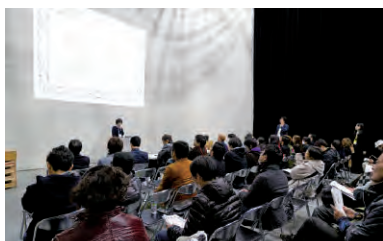
HISTORICA



京都映画若手才能育成ラボ



太秦戦国祭り



京都映画・映像企画市



京都太秦ゲームフェスタ

### ●24th CGアニメコンテスト & CGアニカップ2012

日時：10月27日(土)

場所：京都コンピュータ学院 京都駅前校

概要：日本と海外のCGアニメ作品を比較上映。日本、EU、台湾のCGアニメクリエイターが団体戦で試合を行った。また、試合の様様をニコニコ生放送、YouTubeLiveによりインターネットライブ配信した。

### ●天橋立コスプレイベントGO-TAN 2012

日時：11月11日(日)

場所：天橋立周辺

概要：コスプレやアニソン、痛車展示などのイベントを開催し、新産業・新しい観光(着地型観光・もてなしの観光)の創出を図った。

### ●HISTORICA (ヒストリカ)

日時：12月1日(土)～9日(日)

会場：京都シネマ、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所

概要：映画・映像制作の拠点である太秦の撮影所等において、歴史をテーマにした国際映画祭を開催し、国内外の歴史映画を上映するとともに、映画製作関係者等を招き、クロスメディア展開の手法や国際事業展開の可能性を探った。

### ●京都映画若手才能育成ラボ

日時：※HISTORICA開催期間中

会場：松竹撮影所、東映京都撮影所、東映太秦映画村、京都文化博物館

概要：国内外の若手映画制作者を対象に、短編時代劇映画制作の機会を提供する本格的な時代劇制作ワークショップや、国内の若手俳優を対象に、時代劇の所作習得を通じた演技指導ワークショップを実施し、人材の育成を図った。

### ●太秦戦国祭り

日時：12月8日(土)、9日(日)

会場：東映太秦映画村

概要：歴史創作に関するゲーム・アニメ・映画等のブース出展、トークショー、ビジネスセミナー、参加型で楽しむコスプレイベントなどを開催し、歴史創作コンテンツのクロスメディア発信拠点としての京都・太秦をPRした。

### ●京都映画・映像企画市

日時：12月8日(土)

会場：立命館大学松竹スタジオ

概要：若手映画・映像製作者を対象とした企画コンテストや交流・相談会の開催などを通じて、時代劇の拠点としての京都の優位性を活かし、映画・映像や若手クリエイターが世に出ていく仕組みを構築することを目的とし開催した。

### ●京都太秦ゲームフェスタ

日時：12月8日(土)～ ※事業展開は3月31日(日)まで

ゲームエリア：嵐電沿線一帯

概要：太秦に拠点を置く若手クリエイターと地域資源等のコラボによる、スマートフォンのGPS機能を使ったウォークラリー形式によるクイズゲームを開催し、観光、交流、賑わいづくりなどゲームの新しい活用方法の可能性を提案した。

**オフィシャルイベント**
最先端IT・エレクトロニクス総合展  
**CEATEC JAPAN**

名称：CEATEC JAPAN 2012  
 会期：2012年10月2日(火)～10月6日(土)  
 会場：幕張メッセ  
 主催：CEATEC JAPAN実施協議会  
     (一社)情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)  
     (一社)電子情報技術産業協会(JEITA)  
     (一社)コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)  
 後援：■総務省／外務省／経済産業省(建制順)  
     ■(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)／  
     (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)／  
     (独)産業総合研究所／(独)情報通信研究機構(NICT)／  
     (独)情報処理推進機構(IPA)／(独)中小企業基盤整備機構／  
     (独)国際観光振興機構(日本政府観光局)  
     ■千葉県／千葉市  
     ■日本放送協会／(一社)日本民間放送連盟  
     ■(一社)日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／  
     千葉商工会議所  
     ■アメリカ合衆国大使館商務部／駐日欧州連合代表部／  
     英国大使館貿易・対英投資部／カナダ大使館／  
     フランス大使館企業振興部-ユビフランス  
 対象：IT・エレクトロニクス業界関係者、および一般ユーザ  
 来場者：162,219人

**■内容**

今年で13回目を迎えた、アジア最大級の最先端IT・エレクトロニクス総合展「CEATEC JAPAN 2012」には、624社／団体が出展し、会期中の来場者数は162,219人(うちプレス登録者1,867人)となった。

今回のCEATEC JAPANでは、「Smart Innovation - 豊かな暮らしと社会の創造」をテーマに掲げIT・エレクトロニクスの技術革新によってエネルギー効率が高まり、スマート化していくIT・エレクトロニクスの多彩な提案を世界に向け発信した。また、昨年新設したCEATEC AWARDは、今開催から総務大臣賞、経済産業大臣賞が交付され、IT・エレクトロニクス産業の発展と市場創造への貢献を目指して実施した。ライフ&ソサエティステージでは、開催テーマに合わせ、家とエネルギーと家電をつなぎ制御する、スマートハウス、HEMS(Home Energy Management System)、家庭用蓄電システム、スマート家電、ICT活用を促進させるクラウドサービス、ユーザビリティの向上やセキュリティに不可欠な画像、顔、音声、文字、掌紋等の認証技術等、人々の生活をより豊かに、より快適にする技術、製品、サービスを提案した。キーテクノロジーステージでは、電気自動車(EV)やハイブリッド車(HV)の進化を牽引するパワーモジュールや、安全で快適に車内の様々な機器を操作できる入力デバイス、社会インフラやHEMSを支える省エネ・蓄エネ・創エネ技術、また、スマートフォンやタブレット端末等の小型化やエネルギー効率向上を支えるキーデバイス、電池や電源ケーブルを不要とするエネルギーハーベスト技術等、家電や自動車等を支える世界最先端の高機能電子部品やアプリケーションが展示された。

コンテンツ関連の出展では、4Kテレビ、高精細デジタルカメラ等の次世代映像技術や、スマートフォン等の最新モバイルコミュニケーションや、クラウドサービスを利用した新しいサービスなどが多数提案された。特別展示では、「新しい放送サービスが変えるライフスタイル～テレビはまだまだ面白くなる～」をNHK/JEITAが企画し、放送と通信の利点を生かした新サービスや映像機器、近い将来実用化が期待されるHybridcastのプロトタイプ受信機、そして次世代のサービスとして開発を進めている高臨場感なスーパーハイビジョンなどを紹介した。

さらに、「コンテンツエクスペリエンスゾーン」を超臨場感コミュニケーション産学官フォーラムの企画により開催。超臨場感技術を活用した立体映像や多視点映像および五感・多感覚コンテンツ、テレワーク技術など、さまざまな最新技術を活用した3D映像アプリケーションおよびそのコンテンツを中心に、今までにない臨場感を持った新たなコミュニケーションを体験いただいた。







© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization

名称：Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2013 S/S  
 会期：2012年10月13日(土)～20日(土)  
 会場：渋谷ヒカリエ、メルセデス・ベンツ コネクション 他  
 主催：(一社)日本ファッション・ウィーク推進機構  
 後援：経済産業省 以下14団体  
 協賛：メルセデス・ベンツ日本(株) 以下32社/団体  
 対象：バイヤー、プレス、その他業界関係者、一部は一般消費者向け  
 来場者：53,100人

### ■内容

メルセデス・ベンツ ファッション・ウィーク東京 2013 S/Sは、東京の新名所渋谷ヒカリエとメルセデス・ベンツ コネクションを主会場として10月13日(土)～20日(土)に開催し、期間中および前後に実施された主催・共催、関連イベントに約53,000人が来場し、ファッションの街・渋谷を中心としたファッション・ウィークは盛況裡に終了した。

今回のポイントは以下の通り。

- (1)公式会場に渋谷が加わったことで若い層に人気のブランドの参加があったり、オープニングセレモニーでのサプライズゲストの登場もあり、「ファッション・ウィーク」というものが話題となり広く知れ渡るチャンスとなった。メディア掲載やWebアクセスも急増。
- (2)今回の参加41ブランドについては、参加の度に力をつけてきた若手デザイナーや、今や日本の代表となりつつある発信力溢れる中堅、カジュアル感の表現で世界が一目を置く東京のメンズブランド、そして最終日に野外で行われた独創性一杯のクリエイション等に高評価があった。
- (3)ロンドンの主催者も来日しての「Tweed Run Tokyo 2012」、そして「渋谷ファッションフェスティバル」でのナイトアウト企画や、日本橋路上でのキモノファッションショー等、天候にも恵まれて楽しさ溢れる一般参加の関連イベントが多彩に行われた。世界的にも珍しい渋谷のスクランブル交差点を囲む大型ビジョンでのPRも話題になった。
- (4)ジェットロ招聘のブロガー・Tommy Tonのファッション・ウィーク東京についての取材ブログが、グローバルな有力ファッションサイトstyle.comのトップページに掲載されたり、ファッションショーのWeb配信が、ブランドの告知もあり国内外からのアクセスが殺到するなど、大きな発信力となった。



## オフィシャルイベント



名称：第5回ロボット大賞  
 会期：2012年10月17日(水)～10月19日(金)  
 会場：東京ビッグサイト  
 主催：経済産業省／(一社)日本機械工業連合会  
 協力：(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構／(独)中小企業基盤整備機構／  
 (一社)日本ロボット工業会／(一社)日本ロボット学会／  
 (一社)日本機械学会／(社)人工知能学会／(一社)日本人間工学会／  
 (公社)計測自動制御学会／(公財)テクノエイド協会／日本科学未来館  
 対象：関係者および一般  
 来場者：9,413人

## ■内容

## ●「第5回ロボット大賞」表彰式 10月17日(水)

全83件の応募より、「第5回ロボット大賞」(経済産業大臣賞)を含めた、全10件の優れたロボット・ソフトウェアが表彰された。「第5回ロボット大賞」には、「生活支援ロボットソリューション事業の推進」(パナソニック(株)、松下記念病院)が選ばれた。

本年度より、「ロボットビジネス／社会実装部門」が新設され、ロボットの社会実装やビジネス化に向けた取り組みについて選考を行い、災害現場で活躍する「無人化施工システム」(鹿島建設／熊谷組)等が選ばれた。また、福島第一原子力発電所で活躍した原発対応ロボット「Quince／Rosemary」(千葉工業大学)は、「社会貢献特別賞」として表彰された。

※写真①受賞者記念写真 写真②パナソニック 常務取締役 野村剛氏

## ●「受賞ロボット紹介ステージ」 10月18日(木)

10件の受賞担当者より、受賞ロボット・システムの特徴や開発秘話などを紹介。300名を超える参加者があった。

※写真③ステージ風景

## ●「受賞ロボットの合同展示」 10月17日(水)～19日(金)の3日間

10件の受賞ロボットの合同展示を行った。パナソニックの「ヘッドケアロボット」は、ロボットによる洗髪の実演と体験を行ったほか、自立搬送ロボット「HOSPIL」(写真④)が会場内を移動した。また、知能化組み立てロボット「Fシリーズ」(三菱電機)、ヒト型ロボット「NEXTAGE」(写真⑤)(グローリー／川田工業)は、ロボットによる組み立て作業を行い、多くの来場者の注目を集めた。



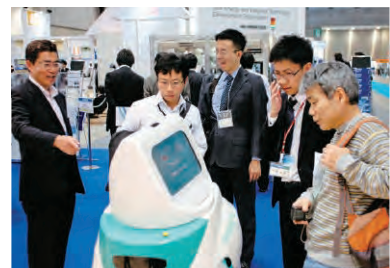
①



②



③



④



⑤



名称：第39回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール  
 会期：2012年10月18日(木)～10月25日(木)  
 会場：NHK放送センター  
 主催：日本放送協会  
 対象：世界教育コンテンツ関係者、研究者、ユーザー  
 来場者：676人

### ■内容

「日本賞」は教育コンテンツの国際コンクールとして、今回は世界60の国と地域から335の応募を受け付けた。コンクール期間中は、これまで番組制作手段の限られた機関を支援してきた「企画部門」の10回目を記念するフォーラムを行ったほか、メディア界のキーパーソンを核に制作者を世界から集め、最先端の制作現場の情報を提供する「教育コンテンツ世界制作者会議 (IPCEM)」を新しく立ち上げ、多くの参加者で賑わった。最終日の授賞式ではグランプリ日本賞が発表され、8日間にわたるコンクールが閉幕した。

日本賞はこれからも教育的効果のある、優れたコンテンツの可能性を追求していく。

### 1. エントリー

335作品の応募 (内容：コンテンツ部門309、企画部門26、60の国と地域の計208機関、うち初参加の機関・団体102)

### 2. 主な受賞作品

#### ■コンテンツ部門 グランプリ日本賞

「皷(しわ)」

ベッロ・ヴェルデ・フィルムズ、クロモソーマ、  
 エレファント・イン・ザ・ブラック・ボックス (スペイン)

#### ■企画部門 最優秀賞：放送文化基金賞

「自分を信じて」

ジョイニング・ハンズ・ネパール(JHN) (ネパール)

### 3. 授賞式 (10月25日 放送センター 101スタジオ)

皇太子様のご臨席のもと、各賞の受賞者、審査委員 (12か国・地域16人)、参加者、各賞授与団体 (総務省、文部科学省、外務省、経済産業省 他)、大使館関係者など256人の出席者を迎えて実施した。司会は俳優の谷原章介、首藤奈知子アナウンサー。

### 4. 各関連イベント

10月18日(木) 開会式 審査  
 10月19日(金)～21日(日) 審査  
 10月22日(月) 審査、企画部門10回記念フォーラム  
 10月23日(火)～24日(水) 教育コンテンツ世界制作者会議 (IPCEM)  
 10月25日(木) 受賞作品上映会 授賞式 受賞者パーティー

### 5. 参加者一覧

会期中のイベント173人 (海外60人、国内113人)  
 授賞式256人、受賞者パーティー 247人 (26か国・地域)

### 6. 関連番組

「第39回日本賞授賞式 ～輝け!教育コンテンツ世界～」

11月 3日(土) 午後3時～4時 Eテレ

「2012日本賞 presents 世界のとっておきテレビ」

12月16日(月) 午後4時～5時 Eテレ

「まるごと紹介!2012年日本賞 受賞作品」

12月17日(月) 午前1時25分～2時56分 Eテレ

12月18日(火) 午前1時25分～2時46分 Eテレ

12月19日(水) 午前1時55分～3時06分 Eテレ

**オフィシャルイベント**  **文化庁映画週間**

名称：第9回文化庁映画週間  
 会期：2012年10月20日（土）～10月27日（土）  
 会場：六本木ヒルズ／シネマート六本木  
 主催：文化庁  
 共催：（公財）ユニジャパン  
 対象：映像業界関係者、一般ほか  
 来場者：920人

**■内容**
**●平成24年度文化庁映画賞贈呈式**

10月20日（土） 19:00～

- ・文化記録映画部門
  - 文化記録映画大賞 『隣る人』
  - 文化記録映画優秀賞 『医(いや)す者として～映像と証言で綴る農村医療の戦後史～』
  - 文化記録映画優秀賞 『沈黙の春を生きて』
- ・映画功労部門
  - 赤松 陽構造（映画タイトルデザイン）／明田川 進（音響監督）
  - 井関 惺（映画製作）／佐々木 英世（音響効果）
  - 芝山 努（アニメーション監督）／林 隆（映画美術監督）

**●平成24年度文化庁映画賞受賞記念上映会**

10月27日（土）

- 11:00～ 『医(いや)す者として～映像と証言で綴る農村医療の戦後史～』
- 13:50～ 『沈黙の春を生きて』
- 17:00～ 『隣る人』

**●シンポジウム – MOVIE CAMPUS –**

10月26日（金） 13:00～17:20

- 第1部「クラウドファンディングは本当に映画を救うのか？」
- ゲスト：佐々木芽生（映画監督／プロデューサー）
- 小川 真司（映画プロデューサー／㈱ブリッジヘッド代表取締役）
  - 大高 健志（MotionGallery主催）
  - 梅津 文（GEM Partners 株式会社代表取締役）
  - カート・ヴォス（映画監督／脚本／製作／撮影）
- モデレーター：関口 裕子（ジャーナリスト／㈱アヴァンティ・プラス代表取締役）
- 第2部「ショートアニメーションの密かな愉しみ～絵本との蜜月～」
- ゲスト：山村 浩二（アニメーション作家）
- ミムラ（女優）
- モデレーター：田中 文人（東京国際映画祭スタッフ）

**●映画ナビゲーターズ**

10月24日（水） 19:00～

- 『Laugh & Sports 映画筋トレ』
- 出演：大畑 大介（元ラグビー日本代表／神戸製鋼コベルコスティーラーズ アンバサダー）
- 村上 純（しずる／お笑い芸人）

10月27日（土） 19:00～

- 『Twitterと映画で遊ぼう』
- 出演：Twitter Japan（㈱）
- 牧野 友衛（ビジネスデベロップメント ディレクター）
  - シャディア ブッタ（オペレーションチーム）
  - 榎本 憲男（映画監督／脚本／プロデューサー）
  - まつゆう\*（アーティスト／モデル／ブLOGGER／コラムニスト／プランナー）
  - 松江 哲明（映画監督／プロデューサー）
- モデレーター：田中 文人（東京国際映画祭スタッフ）



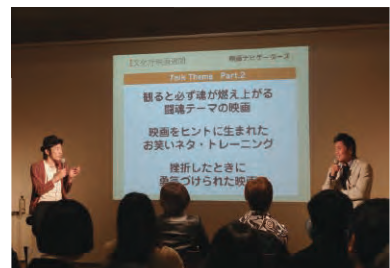
文化庁映画賞贈呈式



文化庁映画賞記念上映会



シンポジウム – MOVIE CAMPUS –



映画ナビゲーターズ



## オフィシャルイベント

25th TIFF  
 TOKYO INTERNATIONAL  
 FILM FESTIVAL  
 東京国際映画祭  
 The Power of Films, Now!



© 2012 TIFF



© 2012 TIFF



© 2012 TIFF



© 2012 TIFF



© 2012 TIFF



© 2012 TIFF

名称：第25回東京国際映画祭  
 会期：2012年10月20日(土)～10月28日(日)  
 会場：六本木ヒルズ(港区)ほか  
 主催：公益財団法人ユニジャパン(第25回東京国際映画祭実行委員会)  
 共催：経済産業省(マーケット部門)/東京都(コンペティション部門)  
 後援：総務省/外務省/環境省/観光庁/港区/国際交流基金/日本貿易振興機構/  
 東京国立近代美術館フィルムセンター/(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団/  
 (財)JKA/(一社)日本経済団体連合会/東京商工会議所/(一社)日本映画製作者連盟/  
 (一社)映画産業団体連合会/(一社)外国映画輸入配給協会/  
 モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)/  
 全国興行生活衛生同業組合連合会/東京都興行生活衛生同業組合/  
 NPO法人映像産業振興機構/(一社)日本映像ソフト協会/(財)角川文化振興財団/  
 (一財)デジタルコンテンツ協会/(一社)デジタルメディア協会

支援：文化庁(国際芸術フェスティバル支援事業)

補助：(財)JKA(競輪補助事業)

スペシャルパートナー：トヨタ自動車(株)

オフィシャルパートナー：木下グループ/日本コカ・コーラ(株)/キャノン(株)

協賛：ソニー(株)/大和証券グループ(株)クリーク・アンド・リバー社/株式会社フェイス/  
 (株)ファンケル/森ビル(株)/ソニーPCL(株)/凸版印刷(株)/株式会社WOWOW/  
 三井不動産(株)/(株)AOKIホールディングス/ヤマトホールディングス(株)/ANA/  
 松竹(株)/東宝(株)/東映(株)/角川書店/日活(株)/富士フィルム(株)/  
 TOHOシネマズ(株)/(一社)映画演劇文化協会/株式会社ワイリミテッド

特別協力：読売新聞

オフィシャルラジオ：J-WAVE

フードサポーター：宗家源 吉兆庵

協力：CineGrid/帝人(株)/テレビ朝日/ゲッティイメージズ ジャパン(株)/  
 (株)Jストリーム/(株)クララオンライン/TOKYO MX/  
 ジュピターエンタテインメント(株)/株式会社メディカル・プリンシプル社/  
 (株)ビームス

対象：海外招聘ゲスト、国内招聘ゲスト、業界関係者、一般

来場者：107,173人

### ■内容

●**オープニング**：10月20日(土) 六本木エリアにて  
 グリーンカーペット、オープニング・セレモニー、公式オープニング上映『シルク・ドゥ・ソレイユ3D 彼方からの物語』、オープニング・レセプション及びグリーン  
 タイ晩餐会

●**クロージング**：10月28日(日) 六本木エリアにて  
 クロージングセレモニー(各賞授賞式)、クロージング上映『人生の特等席』、感  
 謝の夕べ(懇親会)

### ●作品上映：主要部門

コンペティション、特別招待作品、アジアの風、日本映画・ある視点、WORLD  
 CINEMA、natural TIFF Supported by TOYOTA

受賞結果：東京 サクラ グランプリ 『もうひとりの息子』  
 審査員特別賞 『未熟な犯罪者』  
 最優秀監督賞 ロレーヌ・レヴィ 『もうひとりの息子』  
 最優秀女優賞 ネスリハン・アタギル 『天と地の間のどこか』  
 最優秀男優賞 ソ・ヨンジュ 『未熟な犯罪者』  
 最優秀芸術貢献賞 パンカジ・クマール 『テセウスの船』撮影監督  
 観客賞 『フラッシュバックメモリーズ3D』  
 TOYOTA Earth Grand Prix 『聖者からの食事』  
 TOYOTA Earth Grand Prix 審査員特別賞 『ゴミ地球の代償』  
 最優秀アジア映画賞 『沈黙の夜』  
 アジア映画賞スペシャル・メンション 『ブワカウ』、『兵士、その後』、『老人ホームをとびだして』  
 日本映画・ある視点 作品賞 『GFP BUNNY -タリウム少女のプログラム-』  
 TIFF 特別感謝賞 レイモンド・チョウ(映画プロデューサー)

### ●共催・提携企画

第9回文化庁映画週間、みなと上映会、日米フィルムアカデミー、TIFF/東北連  
 携プロジェクト、映画産業とTV放送産業の経済貢献、CineGrid@TIFF 2012、JFC  
 全国ロケ地フェア 2012、第25回東京国際女性映画祭：フィナーレ、コリアン・  
 シネマ・ウィーク 2012、新作映画イッキにみせます in 東京国際映画祭、2012  
 東京・中国映画週間、第6回田辺・弁慶映画祭 ほか

### ●マーケット

TIFFCOM2012

## オフィシャルイベント



名称：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2012  
 会期：2012年10月22日（月）  
 会場：東京プリンスホテル  
 主催：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会  
 （構成団体）  
 （一社）日本民間放送連盟／（株）TBSテレビ／日本テレビ放送網（株）／  
 （株）テレビ朝日／（株）フジテレビジョン／（株）テレビ東京／（株）WOWOW／  
 日本放送協会／スカパーJSAT（株）／（社）日本映画製作者連盟／松竹（株）／  
 東宝（株）／東映（株）／（株）角川書店／（社）日本音楽事業者協会／  
 （公社）芸団協・実演家著作隣接権センター／  
 （社）全日本テレビ番組製作社連盟／NPO法人映像産業振興機構／  
 （一社）日本映画テレビプロデューサー協会  
 共催：総務省／経済産業省  
 協賛：（株）電通／（株）博報堂DYメディアパートナーズ  
 連携企画：TIFFCOM  
 対象：業界関係者／バイヤー  
 来場者：800人

## ■内容

## ●「東京ドラマアワード2012」授賞式・パーティ

## ・司会

石坂浩二、武内陶子（NHKアナウンサー）

## ・ゲスト

堺雅人、尾野真千子、長谷川博己、杏、渡部篤郎、斉藤由貴、樹木希林、池松壮亮 など

## ●「東京ドラマアワード2012」受賞作品

## 作品賞＜連続ドラマ部門＞

グランプリ 『家政婦のミタ』 日本テレビ放送網  
 優秀賞 『カーネーション』 NHK  
 優秀賞 『妖怪人間ベム』 日本テレビ放送網  
 優秀賞 『リーガル・ハイ』 フジテレビジョン  
 優秀賞 『それでも、生きてゆく』 フジテレビジョン  
 優秀賞 『贖罪』 WOWOW

## 作品賞＜単発ドラマ部門＞

グランプリ 『明日をあきらめない・・・がれきの中の新聞社』 テレビ東京  
 優秀賞 『とんび』 NHK  
 優秀賞 『砂の器』 テレビ朝日  
 優秀賞 『SPEC～警視庁公安部公安第五課未詳事件特別対策係事件簿～  
 翔』 TBSテレビ  
 優秀賞 『ブラックボード～時代と戦った教師たち～』 TBSテレビ

## アジア賞

『家政婦のミタ』 日本テレビ放送網

## ローカル・ドラマ賞

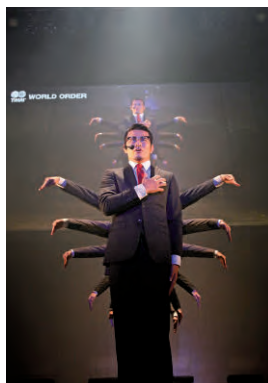
『約束～名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯～』 東海テレビ放送

## ローカル・ドラマ賞

『あのひとあの日』 NHK佐賀放送局







名称：第9回東京国際ミュージックマーケット  
 会期：2012年10月23日(火)～25日(木)  
 会場：ホテル日航東京/ホテルグランパシフィックLE DAIBA/Zepp DiverCity Tokyo  
 主催：経済産業省/財音楽産業・文化振興財団  
 協力：(一社)日本レコード協会/特定非営利法人映像産業振興機構/  
 (公財)ユニジャパン/(一社)日本動画協会  
 後援：外務省/(一社)日本音楽著作権協会/(公社)日本芸能実演家団体協議会/  
 (一社)日本音楽事業者協会/(一社)日本音楽出版社協会/  
 (一社)日本音楽制作者連盟/(一社)コンサートプロモーターズ協会/  
 (一社)私的録音補償金管理協会  
 対象：音楽産業関係者(ルーキーズ10ミニッツステージ/ショーケースライブのみ  
 一般観客も無料招待)  
 来場者：20,000人(TIMM、TIFFCOM、TIAF、CMT 4マーケット合計)

### ■内容

1. **海外招聘バイヤー数**：13ヶ国地域※ 87名  
 ※USA、Canada、UK、Germany、France、Australia、South Korea、  
 Taiwan、China、Hong Kong、Thailand、Malaysia、Indonesia
2. **プレ商談会**  
 日時：10月23日(火)19:00～21:00  
 会場：ホテル日航東京B1F「ベガサス」  
 海外招聘者…70名、ブース出展者…52名、その他…25名 計147名
3. **ビジネスセミナー**  
 日時：10月24日(水)13:00～15:00  
 会場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA「ヴァンドーム」  
 テーマ：「Sync Summit 2012」(一般社団法人日本音楽出版社協会 共催)  
 入場者数：221名  
 モデレータ)チャーリー見上氏 (Senior Vice President, NY Office, IMA Group, Sony Music  
 Entertainment(Japan) Inc./Sony Music Publishing (Japan) Inc.)  
 パネリスト)Mr. Ataka Narumi (Universal Music Publishing, US)  
 Ms. Tricia Holloway (Path Music, UK)  
 Mr. Brandon Young (Director of Music Affairs, Activision)
4. **個別商談会**  
 日時：10月24日(水)9:00～18:00、10月25日(木)9:00～16:00  
 会場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA「エトワール」「シャトレ」  
 参加出展社数：国内(30社・団体、34ブース)、海外(6社・団体、6ブース)  
 訪問客数：1日目…約1,000名、2日目…約600名 計約1,600名
5. **ショーケースライブ**  
 日時：10月25日(木)16:30～18:00、18:30～22:00  
 会場：Zepp DiverCity Tokyo  
 第一部：「ルーキーズ10ミニッツステージ」9組出演  
 秋 赤音、麻生夏子、河野マリナ、桜木せいら、テレパシー、でんぱ組.inc、  
 ヒロコ・ポニッスイ、三浦サリー、(連携したNHK「J-MELO」より) May J.  
 第二部：「ショーケースライブ」8組出演  
 アリス十番、シュローダーヘッズ、D☆DATE、東京女子流、中川翔子、  
 プラハ、ザ・ボヘミアンズ、ワールド・オーダー  
 一般入場者数：1,500名  
 関係者数：600名 計2,100名
6. **広報関係**  
 <TV>  
 NHK「J-MELO」海外11月12日 国内11月17日  
 NHK地上波「NHKニュース」10月24日  
 香港CENチャンネル「エンタテインメントニュース」放送 2012年11月4日  
 <活字・web>  
 「ORIGINAL CONFIDENCE」10/8号(開催予告記事)12/3号(セミナー中心に  
 開催記事)  
 「レコード特信」「連合通信レコード速報」「文化通信」(10/25、27日)  
 「THE RECORDS 11月号」「音事協NEWS vol 7」「A.C.P.C. navi vol16」他  
 「MTV 81」11月14日、「アニメ!アニメ!」10月25日、「Musicman-net」10月24  
 日、「日経TRENDY NET」10月26日、「Billboard.biz」10月30日

**オフィシャルイベント**


名称：TIFFCOM 2012 Marketplace for Film & TV in Asia  
 会期：2012年10月23日（火）～25日（木）  
 会場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA  
 主催：経済産業省／公益財団法人ユニジャパン  
 共催：第25回東京国際映画祭  
 後援：（一社）映画産業団体連合会／（一社）衛星放送協会／  
 映像産業振興機構／（一社）外国映画輸入配給協会／  
 （一社）コンピュータエンターテインメント協会／  
 協同組合日本映画製作者協会／（一社）日本映画製作者連盟／  
 （一社）日本映像ソフト協会／（一社）日本経済団体連合会／  
 （独）日本貿易振興機構／（一社）日本民間放送連盟／  
 （一社）日本レコード協会  
 ※五十音順  
 協力：（財）音楽産業・文化振興財団／（一社）日本動画協会  
 対象：映画／テレビ／アニメーション／コミック／デジタルメディアコンテンツ／  
 出版などの業界関係者  
 来場者：20,000人（TIMM、TIFFCOM、TIAF、CMT 4マーケット合計）

**■内容**
**●出展者データ**

出展団体数：229 ※過去最高を記録  
 出展参加国：25の国と地域  
 出展内訳：日本81 海外148（日本35.4%：海外64.6%）  
 海外パビリオン：スペイン／メキシコ／カナダ／イギリス／マレーシア／台湾／  
 韓国(KOFIC)／韓国(KOCCA)  
 ※スペインとメキシコがパビリオンとして初出展。

**●バイヤー登録者**：983人 ※過去最高

**●企画マーケット**

参加企画数：20件  
 ACE／日欧コ・プロダクションラボ：5件  
 日本／日欧コ・プロダクションラボ：5件  
 韓国：5件  
 米国、中国、インドネシア、スペイン、ニュージーランド：5件  
 ◆KOFIC（韓国映画振興委員会）との連携を継続  
 ◆欧州のプロデューサー団体 Ateliers du cinéma européen(ACE)と共同で「日欧コ・プロダクションラボ」を同時開催  
 ◆日本の大手映画会社ほか、海外の企画の検討・ミーティングに参加  
 開催セミナー数：10講（7講は日欧コ・プロダクションラボ参加者限定として実施）  
 個別ミーティング数：207件





## オフィシャルイベント

Tokyo  
International  
Anime Festival



名称：東京国際アニメ祭2012 秋  
 会期：平成24年10月23日(火)～25日(木)  
 会場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA  
 主催：経済産業省／(一社)日本動画協会  
 後援：東京都／NPO法人映像産業振興機構  
 協力：(公財)ユニジャパン／(獨)日本貿易振興機構／  
 (財)音楽産業・文化振興財団／東京国際アニメフェア実行委員会事務局  
 対象：国内外のバイヤー並びにアニメ・映像・音楽ビジネス関係者  
 来場者：20,000人(TIMM、TIFFCOM、TIAF、CMT 4マーケット合計)  
 公式ウェブサイト：<http://www.tiaf.jp>

### ■内容

3回目の開催となる今年は、秋葉原からお台場へと場所を移し、TIFFCOM2012・第9回東京国際ミュージックマーケット(TIMM 9th)・CREATIVE MARKET TOKYO 2012(CMT2012)と同会場にて同時開催となった。  
 また東京国際アニメフェア(TAF)との連携により国内外バイヤーへの発信、さらにセミナー等連携しながら広くアニメコンテンツを強化、出展者・来場者の双方に魅力的な環境を整えた。来場者や、関係各社から過去の開催以上の反響を得ることが出来た。

### 【ブース出展】8社／9小間

TVシリーズや劇場版などの最新作アニメ紹介、アニメフェア等の案内・オリジナル商品の紹介等

### 【セミナー】

セミナー・シンポジウム参加者特典として、最新版「アニメ産業レポート2012」を無料配布。

10月25日(木)13:00～14:30

「アニメ産業の現在 アニメ産業レポート2012」

増田弘道氏 (株)ビデオマーケット 取締役

日本動画協会が毎年製作しているアニメ業界レポートを教本とし、日本のアニメ産業の動向を豊富なデータに基づきながら解説。

### 【シンポジウム】

10月25日(木)14:40～16:00

「アニメ産業の今後と海外展開」

増田弘道氏 (株)ビデオマーケット 取締役

陸川和男氏 (株)キャラクター・データバンク 代表取締役社長

太田淳氏 (株)ランティス マーケティングルーム

先のセミナーにおける最新情報を元に、日本のアニメ産業の現状と今後の展開を、CMTでも活躍されている(株)キャラクター・データバンク陸川氏、TIMMよりご推薦いただいた(株)ランティス太田氏を登壇者に加え、国内のアニメ関連会社・他産業会社とのビジネスマッチングや、クリエイターの国内での発展の糸口、海外の各種会社との運動への可能性等を討議した。

### 【企画展示コーナー】

文化庁メディア芸術祭アニメーション分野受賞作品の紹介映像、CMT参加者の作品映像、クリエイターズワールド参加者の作品の上映等、日本の新規コンテンツ関連等の紹介コーナーを設置。

TIAFブースに来られた来場者やバイヤーに向け、現在注目を集めている日本のアニメーションを映像とパネルで紹介した。



**オフィシャルイベント**


名称：CREATIVE MARKET TOKYO 2012  
 会期：2012年10月23日(火)～25日(木)  
 会場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA  
 主催：(公財)ユニジャパン (経済産業省 関東経済産業局 補助事業)  
 協賛：日本電気(株)  
 後援：(公財)画像情報教育振興協会 (CG-ARTS 協会) / 韓国コンテンツ振興院 /  
 (独)中小企業基盤整備機構 / (財)デジタルコンテンツ協会 /  
 (一社)デジタルメディア協会 / (一社)日本アニメーター・演出協会 /  
 (一社)日本商品化権協会 / (一社)日本動画協会 / 不正商品対策協議会 /  
 香港貿易発展局  
 パートナー：(株)アサツーディ・ケイ / (株)グーグル / (株)Jストリーム  
 連携企画：UNI JAPAN × SHORT FILM PROJECT  
 合同開催：TIFFCOM 2012、第9回東京国際ミュージックマーケット (9th TIMM)、  
 東京国際アニメ祭2012 秋 (TIAF2012)

入場料：無料  
 対象：コンテンツの放送、配給、配信、流通に関わる事業者 (映画配給会社 / インターネット関連企業 / コンテンツソフトメーカー / 出版社 / 広告代理店 / 総合商社 / 金融機関 / 投資会社 / 独立系クリエイター / プロデューサー / キャラクターライセンス企業 / 文具、玩具、衣料、食品メーカーほか)  
 公式ウェブサイト：<http://cmtokyo.jp/>  
 来場者：20,000人 (TIMM、TIFFCOM、TIAF、CMT 4マーケット合計)

**■内容**

CREATIVE MARKET TOKYO (CMT) 2012は、経済産業省 関東経済産業局の補助を受けて公益財団法人ユニジャパンが主催する、オールジャンルのコンテンツによるビジネスマッチング見本市。11年目を迎える本年度はメディアの多様化や流通構造の変化にともない、ますますビジネスのスピードやイノベーションが必要とされる時代になってきたことに対応し、具体的なビジネス化企画のピッチ (プレゼンテーション) と個別の商談ブースにおける商談を中心としたビジネスマッチングマッチングを行った。

**■ピッチセッション**

キャラクター&ライセンス部門 (27 出展者)  
 実写&アニメ部門 (4 出展者)  
 アプリ部門 (6 出展者)

**■招待プログラム**
**【特別ピッチセッション】**

- エベレスト・ライジング

**【人材育成プロジェクト コラボレーション・ピッチセッション】**

- UNI JAPAN × SHORT FILM PROJECT  
(主催：経済産業省 / (公財)ユニジャパン、協力：ぴあフィルムフェスティバル)

- アニメミライ

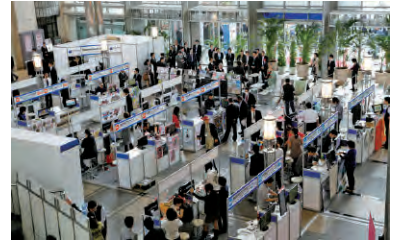
龍-RYO- / リトルウィッチアカデミア

**【クリエイティブパートナー 募集プレゼンテーション】**

- 地域活性化プレゼンテーション  
COOL JAPAN DINNER / スワサイクルプロジェクト / 「だるちゃん」深大寺
- パートナープレゼンテーション  
世界最大の共創プラットフォーム eYeka / トヨタのデジタルマーケティングの考え方について
- YouTube クリエイティブセミナー  
YouTubeを活用して収益を上げよう!

**【地域連携プロジェクト】**

- 地域コンテンツ会議  
各地域のコンテンツビジネスに関連したクラスター、インキュベーション施設、コンテストなどの担当者やコンテンツ関連施策の担当者を主な対象として、コンテンツ産業振興に係る各地域の成功事例や課題をプレゼンテーションとディスカッションを通じて共有することを目的として開催した。



CMT2012 会場



CMT2012 出展者ブース



出展者企画ピッチ



特別ピッチセッション「エベレスト・ライジング」



パートナープレゼンテーション「eYeka」



地域コンテンツ会議

## オフィシャルイベント



名称：デジタルコンテンツEXPO 2012  
 会期：2012年10月25日(木)～27日(土)  
 会場：日本科学未来館  
 主催：経済産業省、一般財団法人デジタルコンテンツ協会  
 共催：日本科学未来館  
 後援：総務省／外務省／文化庁／観光庁／東京都／江東区／東京商工会議所／CG-ARTS協会(公益財団法人画像情報教育振興協会)／(一財)家電製品協会／(一社)電子情報技術産業協会／(一社)コンピュータエンターテインメント協会／(一社)日本動画協会／(公財)ユニジャパン／日本バーチャルリアリティ学会／超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム／3Dコンソーシアム／立体映像産業推進協議会／上海マルチメディア産業協会／日中CG文化交流協会／香港貿易発展局／韓国コンテンツ振興院／(財)資訊工業策進会

対象：業界関係者及び一般  
 来場者：21,503人

### ■内容

#### 【講演・出展数(全体)】

シンポジウム／セミナー／ステージ：23セッション

展示：60団体

#### 【実施プログラム】

##### ●Innovative Technologies(展示／ステージ／表彰)

本年度新たに実施した事業で、技術戦略マップ2012(コンテンツ分野)で示されている技術開発の方向性に基づき、他産業への応用や新市場創出の可能性がある先進的な技術を広く公募により選出し、デジタルコンテンツEXPOの会場で一般来場者に向け展示・実演したものである。22件の先進技術が、有識者で構成される審査委員会によって採択、展示され、開催初日に、産業界／学界等の専門家からなる特別賞選考会を実施。そして、その22件の採択技術の中から、特にコンテンツ産業以外の分野への波及・応用の可能性が高い技術として、「Industry」「Culture」「Human」「Ecology」の4つの特別賞を選考し、表彰を行った。

##### ●特別企画(シンポジウム／セミナー／ステージ)

主催者により特に特徴づけられる内容を選別し、企画された講演やステージイベントを実施。具体的な内容としては、今年度の新事業「Innovative Technologies」の最新技術をステージにて紹介する企画や、技術戦略マップ2012(コンテンツ分野)に示されているコンテンツ関連の技術開発の方向性に関するシンポジウム、卓越した技術・経験を有する専門家・知識人がその専門分野への見識を披露するシンポジウム等、「デジタルイノベーションの架け橋」として技術の可能性を提示する講演プログラムが実施された。

##### ●国際パートナープログラム(展示)

海外のコンテンツ及びその関連技術分野の事業者やコンテンツ産業関連団体を中心として、その最先端技術に関する情報を展示・実演するとともに、最新の海外情勢を紹介し、さらには我が国のコンテンツ産業関係者の海外展開の足掛かりとなることを目指し、交流を図った。

##### ●参加プログラム(シンポジウム／セミナー／ステージ／展示)

プロジェクト型事業として参加した、国際3D協会(International 3D Society: I3DS)の日本部会(I3DS-J)、ASIAGRAPH CGアートギャラリー、IVRC(International collegiate Virtual Reality Contest)をはじめとして、31の企業や研究組織の参加を得た。

－I3DS-J：3D University開催、3Dコンテンツに関する教育・表彰・研究活動の推進

－CGアートギャラリー：アジア13カ国からのCGアート作品の招待/公募展示

－IVRC：インタラクティブ技術のコンテスト、選抜9作品による決勝大会、表彰  
 その他、アニメーション制作者のための実践的なセミナー「アニメーションマスタークラス」や、ICTによりシニア層の社会参加と就労を支援する「高齢者クラウド」プロジェクトの企画によるディスカッション等を実施し、多くの参加者を集めた。



## オフィシャルイベント Inter BEE 2012

International Broadcast Equipment Exhibition

名称：Inter BEE 2012  
 会期：2012年11月14日（水）～16日（金）  
 会場：幕張メッセ  
 主催：（一社）電子情報技術産業協会（JEITA）  
 後援：総務省、経済産業省（建制順）  
 日本放送協会（NHK）／（一社）日本民間放送連盟（JBA）／  
 （一社）電波産業会（ARIB）（順不同）  
 対象：国内外の放送局関係者、CATV、コンテンツ制作者、コンテンツ流通関係者、施設関係者、映像・音響・照明技術者、等  
 来場者：31,857人

### ■内容

本年48回目を迎えたInter BEEは、過去最多の871社（うち海外491社）、36カ国／地域から出展し、出展小間数も1,423小間と前回実績を上回った。登録来場者数は、3日間を通じて31,857人となり前回実績を上回った。報道関係者は343名が国内外から取材に訪れ、Inter BEEに関する記事や映像が日本のみならず海外各国に向けて発信された。

今開催では、日本放送協会（NHK）、一般社団法人日本民間放送連盟（JBA）に加え、新たに総務省、経済産業省、一般社団法人電波産業会からも後援をいただき、放送・通信、ハードウェアとソフトウェアに関係する幅広い産業分野において、行政や標準化の活動とも連携を図る基盤を整備するとともに、30におよぶ関連業界団体や連盟にご協力いただき、国内唯一のメディア総合展にふさわしい体制が整った。

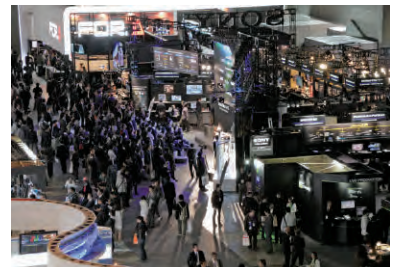
本年は、最先端の放送・映像機器、音響機器、照明機器、IPTV、モバイルTVに加え、クロスメディア、ソーシャルメディアなど多種多様な機器やシステム、ソリューション技術などが多く紹介された。

映像・放送関連機材部門では、4K/8K超高精細映像の本格的な進展や、スマートフォンやタブレットなどのマルチスクリーン向けサービスが進む状況が多く紹介された。プロオーディオ部門、プロライティング部門においても、最新で高性能な機材・技術の紹介が来場者の目を集めており、クロスメディア部門では、「プロダクションプロモートブース」が新設、日本を代表するCG・VFXプロダクションと、デジタルCG・VFXクリエイターとの交流会「Production & Creator's Night」も開催し、デジタルコンテンツの現場からの国際的な技術交流や、広範な需要開拓の場として、ビジネスチャンスにつなげた。

最新トレンドを紹介したコンファレンスにおいては、「Cross Media Theater」を新設し、次世代ラジオのコンセプトを語った「V-Lowセッション」、注目の高まるIPDCやセカンドスクリーンの動向を伝える「IPDCフォーラムシンポジウム」、TBS DigiCon6の協力のもと日本・アジアのクリエイターによる「Asia Contents Forum」、映画製作におけるプリビズ活用事例を紹介した「Pre Visualization（プリビズ）セッション」など、トップクリエイターや第一線で活躍するプロフェッショナルがメディアとコンテンツの多様性と可能性を訴求する各種オープンセッションを開催した。

また、国際会議場で開催した「Inter BEE Content Forum 2012」では、“次世代のコンテンツ ～信頼と創造～”をテーマに掲げ、ハリウッド・ポッター、バットマン・ピギンズをはじめ数々のハリウッドの大作を手掛けるイギリスの名門VFXスタジオDOUBLE NEGATIVEよりゾウイー クランリー氏を迎えるなど、国内外から映像・音響各分野の第一人者をプレゼンターに、コンテンツビジネスの最新動向を議論した。

また、「Inter BEEチュートリアル・セッション」では、放送・映像・音響業界の若手人材や興味を持つ学生や若手エンジニアを対象に、一線で活躍する講師陣が講演し、若手人材の育成とともに今後の業界発展に貢献した。





名称：第29回ATP賞テレビグランプリ 2012  
 会期：2012年12月12日(水)  
 会場：都市センターホテル  
 主催：(社)全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)  
 後援：総務省／経済産業省／観光庁／日本放送協会／  
 (一社)日本民間放送連盟  
 対象：製作会社／放送事業者／関係諸団体  
 来場者：約600人

### ■内容

- 作り手が選ぶ作り手のための賞『ATP賞テレビグランプリ2012』のグランプリ発表と受賞式典。
- 森田高総務大臣政務官、松本正之NHK会長、井上弘民放連会長、迫本淳一コ・フェスタ実行副委員長よりご祝辞を頂戴した。
- 今年度応募総数は過去最多の148本となり、栄えあるグランプリに輝いたのは『世界の果てまでイッテQ!～マッターホルン登頂スペシャル～』（コール、日企、極東電視台、ジッピー・プロダクション、アクロ/日本テレビ）。会員社（123社 ※10月末現在）と審査員（審査委員長：石田昌浩氏・厨子王株式会社）が投じた101票のうち49票を獲得した。



尚、2012年度の受賞作品一覧、及び応募作品一覧、審査講評の詳細については、ATP賞2012ホームページ ([http://www.atp.or.jp/award/award\\_029.html](http://www.atp.or.jp/award/award_029.html)) にて参照の事。

### ～最優秀賞審査講評～

《ドラマ部門》 16票

#### 「BS朝日ドラマ 王様の家」

この作品は、BS放送なので制作費の制限等があったと思うが、そこを逆手にとって各話にメッセージを込め「ワンセット 一話完結 一時間ドラマ」をオリジナル脚本で製作したことは素晴らしい。地上波ドラマは、タレントを観ることが主流でメッセージ性が弱く、脚本は二の次になっていることへの警鐘ドラマにしていることが意義深い。ワンセットドラマにするため、制作費、脚本家、俳優陣、スタッフが一体となって熱い思いで制作したことが視聴者に強く伝わったと思う。



《ドキュメンタリー部門》 33票

#### 「ザ・ノンフィクション 特別版 まりあのニューヨーク ～死ぬまでに逢いたい人～」

一人の女性ALS患者の壮絶な記録だが、この番組は難病の記録を超えて、憧れ、愛、苦悩を経てひとりの女性が確かにこの世に生きたという濃密な実感、いわば「女の一生」を見たという実感が残る。20年前に別れたアメリカ人の元夫との再会を願い、出会い、別れる一連のシーンが心打たれる。二人が公園で語り合う神の話題。そこには悲しみの中に不思議な解放感がある。この番組をみたら、「まりあ」という女性が必ず見た人の心の中に生き続けるだろう。

《情報・バラエティ部門》 49票

#### 「世界の果てまでイッテQ! ～マッターホルン登頂スペシャル～」

「イモトアヤコ」という素材を発見し、ここまで育て、マッターホルンにまで登頂させる。それを無事成し遂げたこと。そのエネルギーに感服。圧倒的な映像を取りながらもバラエティとしての笑いを忘れず、引き戻すバランス感覚。タレントとスタッフとの信頼関係なども伝わってきて感動的。番組ジャンル分けを越えた迫力を持った番組になっている。





**オフィシャルイベント**


名称：マンガフェスティバル in シンガポール  
 会期：2013年2月15日(金)～17日(日)  
 会場：マンダリンオーチャードシンガポール／紀伊國屋書店シンガポール本店  
 THE ARTS HOUSE  
 主催：「マンガフェスティバル in シンガポール」実行委員会  
 共催：経済産業省  
 後援：(一社)コンテンツ海外流通促進機構(CODA)  
 協力：(株)紀伊國屋書店／(株)トーハン／(株)ブックリスタ ※50音順  
 コミック10社会(秋田書店／角川グループ／講談社／集英社／小学館  
 少年画報社／新潮社／白泉社／双葉社／リイド社)  
 対象：コミックに関連する現地企業、政府機関、学生、および一般  
 来場者：3,082人

**■内容**
**<講演会>**

2月15日(金) 於 マンダリンオーチャードシンガポール グランドマンダリンボールルーム1  
 ●日本のコミック出版、電子書籍マーケットや海外展開の事例を紹介する等、シンガポール・ASEAN諸国へ向けて発信する講演会を開催。 ※逐次通訳

- 14:00 基調講演 "The world's leading e-book strategy of Japan"  
 「世界をリードする日本の電子書籍戦略」  
 株式会社角川グループホールディングス取締役会長 角川歴彦氏
- 15:15 レクチャー1 "Business Model of 'Suraj: The Rising Star' (Indian edition of 'Star of the Giants' (Kyojin no Hoshi)) / 「スーラジ・ザ・ライジングスター (インド版「巨人の星」) ビジネスモデルについて」  
 株式会社講談社 国際事業局 担当部長 古賀義章氏
- 16:30 レクチャー2 "Popularizing MANGA in Asia – the Case of 'Shinya Shokudo'"  
 「マンガのアジア展開、『深夜食堂』の場合」  
 安倍夜郎氏、株式会社小学館 第3コミック局 プロデューサー 大島誠氏  
 株式会社小学館 ビッグコミックオリジナル編集部 デスク 廣岡伸隆氏

**<交流会>**

2月15日(金) 於 マンダリンオーチャードシンガポール グランドマンダリンボールルーム2  
 ●ビジネスマッチングを目的とした、国内出版社とシンガポール企業・政府機関との交流会を開催。 ※逐次通訳

- 18:00 実行委員長挨拶：株式会社角川グループホールディングス代表取締役社長 佐藤辰男氏  
 主催者代表挨拶：経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課 課長 伊吹英明氏  
 来賓挨拶：Mr. Joachim Ng, Director (Industry Operations), MDA (Media Development Authority), シンガポール政府
- 18:30 交流会 ※通訳付

**<サイン会・スペシャルスピーチ>** 2月16日(土) 於 紀伊國屋書店シンガポール本店

●シンガポール、ASEAN諸国のより幅広いコミックファンを獲得するためトーク&サイン会を実施。

- 12:00 Mr. Lim Cheng Tju とシンガポールの学生たちによるディスカッション  
 13:00 「深夜食堂」安倍夜郎氏、トーク&サイン会  
 14:30 「もやしもん」石川雅之氏、トーク&サイン会  
 16:00 「ケロロ軍曹」吉崎観音氏、トーク&サイン会  
 17:30 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 代表取締役 伊藤博之氏によるスペシャルスピーチ  
 「Culture Japan」プロデューサー Mr. Danny Choo と共にトーク&サイン会

**<展示会>** 2月16日(土)～17日(日) 於 THE ARTS HOUSE「Gallery」

●日本語版の人気コミックス、電子コミック、人気イラスト等を展示  
 ・コミック10社会推薦のコミックス・電子コミック展示  
 ・海賊版対策メッセージ、CGM事例、アンケート収集



---

## CoFesta2012 Partner Events

---

コ・フェスタパートナーイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベントで国際性、規模等でオフィシャルイベントに準じるものでコ・フェスタ実行本部が認めたイベント。

---

第3回国際科学映像祭

---

第7回札幌国際短編映画祭

---

第34回PFFぴあフィルムフェスティバル

---

京都国際マンガ・アニメフェア2012

---

吉祥寺アニメワンダーランド2012

---

MPTE AWARDS 2012

(一社)日本映画テレビ技術協会 創立65周年記念 表彰式

---

全映協フォーラム2012 in OSAKA

---

第3回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2012」

「International Corporate Film showing 2012」

---

JVA FESTA 2012

---

東京TVフォーラム2012 (TTVF2012)

---

LA EigaFest 2012

---

第1回ベルリン国際映画祭 in 仙台

---

## パートナーイベント 第3回国際科学映像祭

名称：第3回 国際科学映像祭  
 会期：2012年8月1日(水)～9月30日(日)  
 会場：日本国内の科学館・プラネタリウム館・シアターなど54施設  
 主催：第3回 国際科学映像祭実行委員会  
 共催：大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台  
 第4回東京国際科学フェスティバル実行委員会  
 後援：文部科学省、宇宙航空研究開発機構、日本プラネタリウム協議会  
 対象：一般、科学館職員、研究者、技術者など  
 来場者：総観覧者数 1,008,597人(参考：総入場者数 2,600,446人)

### ■内容

この国際科学映像祭の開催目的は次の3つである。①良質な科学映像コンテンツを広く国内外に紹介し、多くの人々に見ていただく機会を提供する。②コンテンツ制作や技術開発に関わる人々の情報交換を促進する。③新進クリエイターの作品発表の場を設け、国際的に活躍できる場とコミュニティを創出する。

これからの時代、人と人とのつながりや人と科学のつながりなど、様々なつながりが大事なのではないかと考え、今年のテーマを「科学でつながる」とした。

主なメインプログラムは以下の通りである。

- ・協力会場における科学映像上映、スタンプラリー  
科学館やプラネタリウム、シアターなど54施設での科学映像上映、スタンプラリー
- ・サイエンスフィルムカフェ&ワークショップ(科学技術館)  
科学技術映像祭入選作品の上映と映像クリエイターのトークおよびワークショップ
- ・サイエンスフィルムカフェ理研DAY(科学技術館)  
理化学研究所の研究者によるトークショー
- ・ドームフェスタ(ソフィア堺)  
国内外のドーム映像作品上映及び招待講演会、ショートプログラム作品コンテスト、関連企業展示



## パートナーイベント 第7回札幌国際短編映画祭 (SAPPORO SHORT FEST 2012)

名称：第7回札幌国際短編映画祭 (SAPPORO SHORT FEST 2012)  
 会期：2012年9月12日(水)～9月17日(月)  
 会場：札幌プラザ2・5/シアターキノ/イベントスペースEDIT  
 主催：SAPPOROショートフェスト実行委員会/札幌市  
 後援：札幌市内の新聞社・放送局/各国大使館など  
 対象：札幌市民、映像制作者、観光客ほか  
 来場者：13,642人(本祭前後の上映含む)

### ■内容

●コンペティション、特別プログラムの上映  
コンペティションは26カ国から87本上映。  
この他、東日本大震災関連の映画を集めたプログラムや日本の秀作を集めたJAPANオフシアターなどの特別プログラムを含め、6日間で合計227本の短編映画を上映。

●5名の国際審査員がフィルムメーカー部門、作品部門のグランプリの他、各賞を選出。

クァク・ジェヨン	(映画監督/韓国)
ローラ・アルバート	(作家/アメリカ)
ニック・ゴールドスミス	(映画プロデューサー/イギリス)
小林 武史	(音楽家/日本)
五十嵐 いおり	(アナウンサー/日本)

●映像教育のフォーラム、プロフェッショナル向けの撮影機材セミナーなども開催。





## パートナーイベント 第34回 PFF ぴあフィルムフェスティバル



名称：第34回PFFぴあフィルムフェスティバル  
 会期：2012年9月18日(火)～9月28日(金) \*9月24日休館  
 会場：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール、小ホール(3日間のみ)  
 主催：PFFパートナーズ(ぴあ、ホリプロ、日活)／公益財団法人ユニジャパン  
 共催：東京国立近代美術館フィルムセンター  
 特別助成：(一社)映画演劇文化協会  
 特別協賛：セガサミーグループ  
 後援：(一社)日本映画製作者連盟／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)／  
 協同組合日本映画監督協会  
 協力：早稲田大学  
 対象：一般観客、映画監督志望者、映画製作・配給等関係者、映画・映像教育  
 機関関係者  
 来場者(地方開催含む)：7,000人(予定)

### ■内容

- コンペティション部門「PFFアワード2012」：応募総数522作品から16入選作品を東京開催中に2回上映し、最終日の表彰式にてグランプリをはじめとした各賞を発表。
- 招待企画：①「映画の“ルック”を浴びてみる」イギリス映画界の巨匠マイケル・パウエルと、共同製作者であるエメリック・プレスバーガーの4作品に加え、パウエル初期作品の合計5作を紹介。②「日本映画最新作」日本映画を支える俳優陣が集結した三宅唱監督の「Playback」と、08年ベルリン国際映画祭にて最優秀新人作品賞を受賞した熊坂出監督の「リルウの冒険」を公開に先駆け上映。③「追悼 森田芳光監督幻の8ミリ作品たち」劇場デビュー前の貴重な8mm作品4本の上映と、監督と縁の深い日本の女性撮影監督の第一人者である芦澤明子さんによるトークを実施。④「テレビドラマに挑戦! WOWOWドラマをみる。」近年国内外で話題となった「贖罪」(監督:黒沢清)、「エンドロール～伝説の父～」(監督:石井裕也)を上映し、両監督によるトークを実施。④クローージングとして、第22回PFFスカラシップ作品「HOMESICK」をプレミア上映。

## パートナーイベント 京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ) 2012



名称：京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)2012  
 会期：2012年9月21日(金)～23日(日)  
 ※ビジネスデー：21日、パブリックデー：22日～23日  
 会場：京都市勧業館(みやこめっせ)／平安神宮  
 主催：京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会／京都市  
 協力：(一社)日本動画協会／特定非営利活動法人映像産業振興機構  
 対象：マンガ・アニメファン、商品開発に興味のある事業者、クリエイター志望者  
 来場者：23,800人

### ■内容

- 出展ブース  
出版社やアニメ制作会社をはじめ、映像メーカーや放送局、教育機関など30以上の企業・団体が出展。商談のほか、新作PRや商品の販売が行われた。
- 限定商品の開発・販売  
関西圏企業とマンガ・アニメ作品をタイアップした限定商品を18商品30種類開発し、フェア内で展示、販売を行った。
- ビジネスセミナー  
マンガ・アニメのビジネス展開に関するセミナーを開催した。
- ステージイベントなど  
人気作品のイベントを10ステージ以上開催した。  
また、平安神宮ではミルキィホームズ、水樹奈々によるライブを開催した。



## パートナーイベント 吉祥寺アニメワンダーランド 2012

名称：吉祥寺アニメワンダーランド2012  
 会期：2012年9月29日(土)～10月8日(月・祝)  
 会場：吉祥寺駅周辺  
 (井の頭公園野外ステージ/武蔵野商会館/  
 東急百貨店吉祥寺店北側広場/吉祥寺シアター/  
 コピス吉祥寺ふれあいデッキこもれび 他)  
 主催：吉祥寺ウェルカムキャンペーン委員会  
 (吉祥寺活性化協議会/武蔵野商工会議所/武蔵野市商店会連合会)  
 後援：武蔵野市/武蔵野市開発公社/東京都/経済産業省関東経済産業局  
 対象：一般観客  
 来場者：28,000人

### ■内容

今年は、西原理恵子さんの「毎日かあさん」をメインキャラクターに、9月29日から開催し、期間中は吉祥寺がアニメに染まった。恒例のイベント「吉祥寺おもちゃ市場」や「まちなかファミリーステージ」では、ゆるキャラNo.1に選ばれた「くまモン」や子供から大人まで大人気の「チェブラーシカ」が登場し、会場が盛り上がりを見せた。その他、期間限定の「チェブラーシカコラボメニュー」やSTUDIO 4℃「街とNa・Su・Bi(ナスビ)のコラボプロジェクト」など大盛況だった。

### <主なイベント 参加者報告>

吉祥寺おもちゃ市場	9/29・30	参加者：5,000人
まちなかファミリーステージ	9/29・30	参加者：1,200人
井の頭公園イベント	10/6・7	参加者：16,000人
吉祥寺アニメーション映画祭	10/6	参加者：50人
プラモデル教室	9/30	参加者：250人



## パートナーイベント MPTE AWARDS 2012 (一社)日本映画テレビ技術協会 創立65周年記念 表彰式

名称：MPTE AWARDS 2012  
 (一社)日本映画テレビ技術協会 創立65周年記念 表彰式  
 会期：2012年10月25日(木)  
 会場：六本木アカデミーヒルズ49タワーホール  
 主催：(一社)日本映画テレビ技術協会  
 後援：経済産業省/映画産業団体連合会/日本映画製作者連盟/ユニジャパン/  
 映像文化製作者連盟/外国映画輸入配給協会/  
 全国興行生活衛生同業組合連合会/映像産業振興機構/  
 日本映像ソフト協会/日本アド・コンテンツ制作社連盟/  
 日本ポストプロダクション協会/日本放送協会/日本民間放送連盟/  
 全日本テレビ番組制作社連盟/日本映画撮影監督協会/  
 日本映画・テレビ照明協会/日本映画・テレビ美術監督協会/  
 日本映画・テレビ録音協会/日本映画・テレビ編集協会/日本照明家協会/  
 テレビ日本美術家協会/日本ビデオコミュニケーション協会(順不同)  
 協力：クロスコ/映像新聞社/ユニ通信社  
 来場者：約250人

### ■内容

MPTE AWARDS 2012表彰式は、コ・フェスタ2012のパートナーイベントとして、また東京国際映画祭の一環として開催した。島谷会長の挨拶で幕を開け、「第15回経済産業大臣賞(日本映画テレビ技術大賞)」、映画・テレビ等の技術に関係する発明、開発に対して「第65回技術開発賞」、撮影、照明、録音、美術、編集からアニメーション、VFX、3Dに至るまであらゆる映像表現技術に対して「第65回映像技術賞」、映像業界に30年以上精励し、功労・功績のあった方に贈られる「第4回栄誉賞」他、各賞の表彰が行われた。表彰式の模様は、USTREAM生中継にて配信。約2000のアクセスがあった。また東京国際映画祭主催のもと、日本映画撮影監督協会と共催、キャノンマーケティング協賛で開催した「映像シンポジウム」「4K映像上映」、懇親会「新しいデジタル世界を語ろう」は、盛況裡に終了した。



## パートナーイベント 全映協フォーラム 2012 in OSAKA



名称：全映協フォーラム2012 in OSAKA  
 会期：2012年11月8日(木)  
 会場：大阪市中央公会堂  
 主催：(一社)全国地域映像団体協議会／関西映像プロダクション協会  
 主管：関西映像プロダクション協会  
 後援：総務省／経済産業省／文化庁／大阪府／大阪市／大阪商工会議所／  
 関西・大阪21世紀協会／大阪観光コンベンション協会／  
 大阪市都市型産業振興センター／日本民間放送連盟／NHK／  
 デジタルコンテンツ協会／映像新聞社ほか  
 対象：映像コンテンツ業界関係者、学校関係者、一般の皆様  
 来場者：350人

### ■内容

プレゼンテーションとして、総務省 情報流通行政局コンテンツ振興課長補佐 古川易史氏、経済産業省 商務情報政策局メディアコンテンツ課長 伊吹英明氏 に有意義なお話しを頂いた。記念シンポジウムでは近藤理事長進行のもと、映画監督大森一樹氏、経済産業省伊吹課長、山納洋氏(大阪ガス)、岡村多恵氏(RKCプロダクション／経済産業大臣賞受賞)に参加いただき「地域コンテンツで広がる新たな未来」と題して活発な議論が繰り広げられた。最新映像セミナーでは「最新4Kを知る」と題して宮田宏美氏(共信コミュニケーションズ)にお話しいただいた。関西おもしろ映像コンテストの作品発表と大阪市市長賞の授与も同時開催した。

### 「全映協グランプリ2012 in OSAKA 優秀賞 受賞作品」

総務大臣賞「山本作兵衛展示映像前編後編」KBC 映像  
 文部科学大臣賞「3秒の世界」富山県立南砺福野高等学校  
 経済産業大臣賞「とびだせ!高知のヘルプマン!」RKCプロダクション  
 大阪府知事賞「うどん県。それだけじゃない香川県」アクシス ほか各賞授与

## パートナーイベント 第3回 映文連 国際短編映像祭



名称：第3回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2012」  
 「International Corporate Film Showing 2012」  
 会期：2012年11月26日(月)～11月29日(木)  
 会場：国立新美術館講堂／富士フィルム西麻布本社1階ホール  
 主催：(公社)映像文化製作者連盟  
 後援：文部科学省／経済産業省／東京都／映像産業振興機構／  
 日本映画テレビ技術協会／日本アド・コンテンツ制作社連盟／  
 日本ポストプロダクション協会／日本映画撮影監督協会／  
 日本映画テレビ照明協会／高度技術社会推進協会／毎日新聞社／  
 読売新聞社／日本経済新聞社／映像新聞社／ユニ通信社  
 対象：一般観客、映像制作関連業種関係者及びそれらの職種を目指す学生等  
 来場者：650人

### ■内容

#### ●映文連アワード2012 表彰式

#### ●International Corporate Film Showing 2012 (世界の優秀企業映像を見る会)

国内では鑑賞の機会が少ない海外の優れた企業映像を紹介する上映会で、World Media Festival(独)、U.S. International Film & Video Festivalより厳選した12作品とアジア諸国からはシンガポールの企業映像を上映した。トークセッションでは、「これからの広告映像とはーグローバル企業の戦略と展望を聞くー」というテーマで企業や自治体の宣伝・広報担当者が出演し、海外(日本)市場に向けてのPR展開、映像を使った広告戦略の在り方等をディスカッションした。

#### ●映文連アワード2012 受賞作品上映会

5プログラムに分けて受賞作品30作品を一挙上映、トークセッションでは、「制作者は3.11とどう向き合ったか」、「私の表現したかったこと」をテーマに、受賞作品の監督・プロデューサーの方々に語り合ってもらった。



## パートナーイベント JVA FESTA 2012

名称：JVA FESTA 2012  
 会期：2012年11月29日（木）～12月2日（日）  
 会場：芸能花伝舎「体育館」  
 主催：特定非営利活動法人日本映像美術協議会  
 共催：日本映画・テレビ美術監督協会／日本映画テレビ照明協会／  
 日本舞台美術家協会／テレビ日本美術家協会  
 後援：映像産業振興機構／新宿区／文化庁  
 協賛：日本芸能実演家団体協議会／日本アド・コンテンツ制作社連盟  
 対象：一般、学生、映像制作関連業種関係者及びそれらの職種を目指す方々  
 来場者：405人

### ■内容

第三回目を迎えた今回は、従来の会員社主体による説明パネルやパーツの展示から踏み込み、外部関係団体との共催及び実物セットの展示とそれを使用した映像表現という新しい試みを実施した。その結果、学生が多く来場し彼らに会員社技術者がセットを使い講義をするなど事業目的である技術の継承という課題に対する具体的な成果が得られた。また、共催についてはネットワークの広がりとともに外部団体との相互理解が深まり映像美術産業発展の一助となった。

- 実演企画／実物セットにプロ仕様の撮影・照明機材を設営  
本格的な映像表現を体験
- 特別展示／NHKスペシャルに登場した「火星探査機キュリオシティ」の実物大模型
- 伊藤嘉翔賞本賞受賞作品展示／日本を代表する舞台・テレビ美術作品展示
- JVA 会員社の仕事紹介／画面を支える裏方たちの技を紹介
- 学生作品展示／未来の匠たちの創造力溢れる作品
- 第10回JVA賞／JVA 賞応募作品の展示と審査



## パートナーイベント 東京TVフォーラム 2012 (TTVF 2012)

名称：東京TVフォーラム2012 (TTVF 2012)  
 [English] TTVF 2012 (Tokyo TV Forum 2012)  
 会期：2012年12月10日（月）～12日（水）  
 会場：都市センターホテル  
 主催：全日本テレビ番組制作社連盟 (ATP)  
 後援：総務省／経済産業省／日本放送協会(NHK)／日本民間放送連盟(民放連)／  
 放送文化基金／放送批評懇談会／放送人の会／  
 全国地域映像団体協議会(全映協)／映像文化製作者連盟(映文連)  
 協力：NHKエンタープライズ／電通／イスラエル大使館  
 協賛：キャノン／キャノンマーケティングジャパン  
 対象：テレビ番組制作者、テレビ局、配給業者、一般  
 来場者：約1,000人 ※各セッション参加者の延べ人数

### ■内容

- 放送コンテンツの海外発信力強化を目的に2011年に立ち上げ、本年が2回目の開催。
- ディジションメーカー（番組採択権を持つテレビ局プロデューサー）や配給会社、ドキュメンタリー事情に詳しいエキスパートを欧米、アジアから招聘。
- ピッチング力の強化を図るため、事前に「トレーニング・セッション」を3回に渡り実施。ピッチング対象者を含む、延べ約200名が参加。
- 公開提案企画の中より選ばれた、最優秀企画1本、優秀企画5本を中心に、国際共同制作成立に向け支援。3月にマレーシアで開催されるASD（アジア・サイド・オブ・ザ・ドック）に「TTVF 枠」として参加。
- 海外ドキュメンタリー祭との連携強化。





## パートナーイベント LA EigaFest 2012



名称：LA EigaFest 2012  
 会期：2012年12月14日（金）～12月16日（日）  
 会場：Egyptian Theatre（米国、ハリウッド）  
 主催：Japan Film Society  
 後援：経済産業省／（公財）ユニジャパン／在ロサンゼルス日本国総領事館／  
 ジェトロ／Japan Foundation  
 対象：ロサンゼルス近郊在住の日本文化と映画に興味のある20～40代を中心とした男女。  
 来場者：3,255人

### ■内容

一般アメリカ人観客を対象とし、日本映画及び文化により関心を持っていただき、日本のプレゼンスとブランド力の向上に貢献することを目的とする。更に、日本映画及び才能を映画の都ハリウッドで紹介することにより、若き才能のハリウッド進出のプラットフォームになると同時に、業界間のコミュニケーションを促進させ、日米エンタメ業界の橋渡し役的な映画祭となることを目的とする。

**1日目**：オープニングレッドカーペットセレモニー、北米プレミアとなる映画「るろうに剣心」をEgyptian Theatresにて上映。ゲストとして監督の大友啓之氏、俳優の青木崇高氏、また監督の蜷川美花氏、俳優の桃井かおり氏、俳優の北村昭博氏、さらに現地ハリウッドで活躍する俳優のジョージ・タケイ氏等にお越し頂いた。その後、Egyptian TheaterのCourtyardにてアフターパーティーを開催。

**2日目**：通常スクリーニング、短編映画コンペティションに加え、ビジネスパネル及びネットワーキングレセプションをLowes Hotel Hollywoodにて開催。

**3日目**：通常スクリーニング、クロージングセレモニーの開催。  
 上映作品数：長編9作品、短編14作品（短編公募6作品、テレビアニメ4作品含む）。

## パートナーイベント 第1回ベルリン国際映画祭 in 仙台



名称：第1回ベルリン国際映画祭 in 仙台  
 会期：2012年3月28日（木）～3月31日（日）  
 会場：東京エレクトロンホール宮城/せんだいメディアテーク  
 主催：ベルリン国際映画祭 in 仙台 運営事務局  
 後援：経済産業省／宮城県／仙台市／仙台市教育委員会／  
 ドイツ連邦共和国大使館／東京ドイツ文化センター／  
 公益財団法人ユニジャパン／仙台市内の新聞社・放送局 など  
 対象：仙台市民（とりわけ被災地子どもたち、ご家族）、映像・クリエイティブ関係者ほか  
 来場者：4,000人

### ■内容

東日本大震災を受けて、東北の子どもたちに映画を届けたいというベルリン国際映画祭の公式サポートの元、本国ジェネレーション部門（青少年部門）の優れた作品の中から特別に選んだ作品を上映した。

**初日（オープニングセレモニー）**：宮城県を代表する子ども劇団などによるパフォーマンス、作品上映、ゲストにはベルリン国際映画祭ジェネレーション部門ディレクターMarianne Redpath氏を招き、ベルリンからのメッセージが届けられた。

**2日目（シンポジウム、関連作品上映）**：関連イベントとして、国内外から映像関係者の集まるベルリン国際映画祭 in 仙台の機会を活用して、地域の映像制作者に対して海外展開に必要な戦略等を伝えるとともに、国内外のコンテンツビジネス関係者間の関係構築を行うネットワーキングシンポジウムを実施した。

**3日目、4日目（作品上映、ワークショップ等）**：ベルリン国際映画祭セレクション作品の上映（長編、短編集合計3プログラム）を中心に、リレーアニメーションをつくるワークショップや東北芸術工科大学によるシンポジウムを行い、最後にはクロージングイベントを行った。

## グランドセレモニー コ・フェスタ 2012 グランドセレモニー

名称：コ・フェスタ2012 グランドセレモニー  
 会期：2012年10月24日（水）  
 会場：Zepp DiverCity TOKYO  
 主催：コ・フェスタ実行委員会  
 出席者：1000名

### ■内容

グランドセレモニーは、日本のコンテンツ産業全体の国際展開を促進するため、国際交流と連携強化の場として企画され、本年はお台場でコ・フェスタの4マーケット（「第9回東京国際ミュージックマーケット」「TIFFCOM 2012 Marketplace for Film & TV in Asia」「東京国際アニメ祭2012 秋」「CREATIVE MARKET TOKYO 2012」）が統合し、同時期・同会場で開催することを受けて、グランドセレモニーの会場も同じくお台場のZepp DiverCity TOKYO（ゼップダイバーシティ東京）で開催した。

会場には、国内のコンテンツ関係者をはじめとする、海外からの業界関係者、クリエイター、バイヤー、メディア、政府関係機関など、約1,000人が参加し、国際的なセレモニー・交流会となった。

開会の挨拶では、大谷信義実行委員長が「日本のコンテンツビジネスをさらにグローバル化するため、今後も活動していきたい」と今後のコ・フェスタの取り組みに対する思いを述べた。続いて、来賓としてご登壇された枝野幸男経済産業大臣から、グランドセレモニーについて、「世界各国の方と、優れたコンテンツを生み出す人が出会うことで、新たな発想を生み出し、世界に羽ばたくコンテンツを生み出していただきたい」と期待が述べられた。

国際マーケットでの活動を予定するアーティストとして「MAN WITH A MISSION」と「乃木坂46」による活気あるライブパフォーマンスも行われ、セレモニー会場はライブハウス特有の熱気に包まれた。

また、今年のコ・フェスタの新たな取り組みの一つとして、日本のコンテンツへの関心が高い留学生50名が「コ・フェスタ留学生アンバサダー」としてセレモニーに参加し、海外からの来場者を中心に日本のコンテンツに対する評価やニーズ、海外展開の現状について積極的なインタビューを行った。

### <登壇者>

枝野 幸男 経済産業大臣  
 岸本 周平 経済産業大臣政務官  
 「乃木坂46」メンバー  
 「MAN WITH A MISSION」メンバー  
 大谷 信義 コ・フェスタ実行委員会 委員長  
 依田 巽 コ・フェスタ実行委員会 副委員長  
 迫本 淳一 コ・フェスタ実行委員会 副委員長  
 松谷 孝征 コ・フェスタ実行委員会 副委員長  
 重延 浩 コ・フェスタ実行委員会 副委員長 兼 エグゼクティブ・プロデューサー

### ■プログラム

- オープニングアクト（「MAN WITH A MISSION」ライブパフォーマンス）
- 開会挨拶（大谷委員長）
- 来賓挨拶（枝野経済産業大臣）
- 乾杯（依田副委員長）
- フォトセッション
- アイドルコンテンツ（「乃木坂46」ライブパフォーマンス）
- 中締め挨拶（松谷副委員長）





## コ・フェスタ留学生アンバサダー



名称：コ・フェスタ留学生アンバサダー  
 任命期間：2012年10月24日～2013年3月29日  
 会場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA／Zepp Tokyo Divercity TOKYO／  
 六本木ヒルズ  
 主催：コ・フェスタ実行委員会  
 運営協力：リヴァンプ  
 アンバサダー：31カ国137人（2012年12月現在の登録）

### ■内容

本年コ・フェスタ事業の新たな取り組みとして発足したコ・フェスタ留学生アンバサダーとは、日本の文化やコンテンツを深く理解している日本在住の外国人大学生および大学院生たちが、クールジャパンの魅力を自国はじめ海外に広く紹介するというアクションである。彼らの選考にあたっては、日本コンテンツを愛しSNSなどを駆使した発信力のある若者たちであることが基準となった。留学生アンバサダーはコ・フェスタ開催期間を中心に様々なイベントに参加しその「外交手腕」を発揮した。

10月24日、コ・フェスタ2012グランドセレモニーにおいて50名の留学生アンバサダーが来場した海外バイヤーを中心に積極的にインタビューを行い、日本コンテンツの海外展開に対する評価やコ・フェスタの感想・要望を調査した。グランドセレモニーの他にもTIFFCOM、TIMM、TIAF、CMTの4マーケットを見学し、最先端の日本のコンテンツを体験するとともに来場した外国人バイヤーやコンテンツホルダーと情報交換を行った。

また、遡って22日にはTIFF「日米フィルムアカデミー」にも参加。映画「ロビン・フッド」の製作総指揮などを担当しハリウッドで活躍するジム・ウィテカー氏による講演に17名が参加し、講演後ウィテカー氏より激励を受けた。

さらに、24日には、「TVフォーマット最前線－TREASURE BOX JAPAN@TIFFCOM－」に参加し、在京各TV局の海外へのフォーマットセールスに関するパネルディスカッションを見学した。イベント後関係者によるネットワークセッションにも参加し番組セラーやバイヤーとも意見交換を行った。

25日には「映画界大論戦 プロデューサーVS学生」に参加。日本の第一線で活躍する映画プロデューサーと意見交換を行った。

同日、TIMMが主催するショーケースライブにも参加し、「東京女子流」「WORLD ORDER」「中川翔子」らのパフォーマンスを見学した後アーティストや音楽業界関係者を交えた懇親会にも出席した。

活動のまとめとして12月5日に経済産業省にて活動報告会が行われ、コ・フェスタにおける留学生アンバサダー活動の未来像がプレゼンテーションされた。具体的には、日本のコンテンツに理解がありSNSでの影響力があるコ・フェスタアンバサダー記者クラブの開設、各国留学生による日本コンテンツへのファン投票を通して海外戦略のサポート機能をもつ多言語ファンページの設立、世界中のオタクが東京に集まるCtoCのファンコンベンションの開催、等が提案された。

また、2013年2月15日から17日まで開催された「マンガフェスティバルinシンガポール」や2013年3月14日から20日まで開催されるジャカルタで開催される「Jimpact」でもそれぞれの出身国の留学生アンバサダーたちの情報発信力が有効に稼働している。

留学生アンバサダーの総合的評価としてはTIFF関係者からの「日本コンテンツのファンを増やす素晴らしい施策であり是非継続して欲しい」「インターンやボランティアとして受け入れたい」「各国のコンテンツ事情を日本国内に提供できる生の声は貴重」のような意見に代表されるように、ほとんどが肯定的なものであった。今後も日本コンテンツの海外事業者および海外消費者向けのPR活動を続け国内のコンテンツ事業者へのフィードバック・調査協力を通して、アンバサダーとして「クールジャパン」を世界に発信していく活躍が期待される。



## 一体感の創出 オフィシャルイベント間の連携

### ■ 4つのコンテンツマーケットの統合

コ・フェスタの主要コンセプトである“世界初のコンテンツ産業を統合するフェスティバル”をより具現化するため、2012年度は「第9回東京国際ミュージックマーケット (TIMM)」、「TIFFCOM 2012 Marketplace for Film & TV in Asia (TIFFCOM)」、「東京国際アニメ祭 2012秋 (TIAF)」、「CREATIVE MARKET TOKYO 2012 (CMT)」の4マーケットを東京・お台場に会場を移転し統合して開催。

2011年度まで単独で開催されていた異なるマーケットが、同時期に同じ場所で開催したことで国内外からのより多くの業界関係者によるマーケット等への参加を容易にし、且つ業界の垣根を越えた交流や新たなビジネス展開が促進された。

会 期：2012年10月23日（火）～10月25日（木）

会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA

### ● 4マーケット合同オープニング・セレモニー

4マーケットの開催初日、開場時刻に先立ち、ホテルグランパシフィック LE DAIBAにおいて、合同オープニング・セレモニーが行われた。セレモニーには多数のマーケット関係者や来賓が参加し、冒頭に今林顯一経済産業省 大臣官房審議官から「4つのマーケットが合同開催することで、さらなる統合が実現され、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの方々と共に夢を語れるマーケットになっていくことを期待する」との挨拶があった。また、これに続いて4マーケットの各代表者と来賓によるテープカットが行われた。

#### テープカット登壇者

今林 顯一	経済産業省 大臣官房審議官
宮川 正	経済産業省 関東経済産業局 局長 (CMT)
多羅尾光睦	東京都港湾局 局長
依田 巽	コ・フェスタ2012 実行委員会副委員長／ TIFF & TIFFCOM2012 チェアマン
桑原 誠	(財)音楽産業・文化振興財団 専務理事 (TIMM)
布川 郁司	(一財)日本動画協会 理事長 (TIAF)
小泉 幸雄	臨海副都心まちづくり協議会 事務局長
大原 正行	(株)東京臨海ホールディングス 代表取締役社長
國生 伸	ホテルグランパシフィック LE DAIBA 取締役社長 兼 総支配人

### ● 地域との連携による一体的な取組

コ・フェスタや各マーケットのオフィシャルロゴを、ゆりかもめ線台場駅をはじめ、お台場地域において集中的に掲出し4マーケットが統合される新たなコ・フェスタの展開を来場者等に広く周知するとともに、4マーケットの出展者情報等を1冊に集約したお台場特集版のオフィシャルガイドブックを作成し来場者等の利便性の向上を図るなど、統合した4マーケットの一体感を創出した。

また、お台場地域の商業施設と連携を図り、合計211店舗が4マーケット来場者に対する特典を設けるなど、コ・フェスタとお台場が一体となって地域を活性化させる取り組みを実施した。

### ● 国際空港におけるポスター掲示

コ・フェスタオフィシャルイベントの開催期間中、イベントに参加する多数のバイヤー等の海外関係者の来日が見込まれたため、海外から東京都心へのアクセスとして利便性の高い「羽田空港国際線旅客ターミナル」（2010年10月オープン）構内の到着ロビーフロアにコ・フェスタ2012公式ポスターを掲出した。



## 一体感の創出 公式行事等への実行委員会正副委員長の出席

- 東京ゲームショウ2012 開会式  
9月20日(木)9:30～ 幕張メッセ  
コ・フェスタ側出席者：大谷 信義 実行委員長  
主催者側出席者：鵜之澤 伸 (一社)コンピューターエンターテインメント協会会長  
辻本 春弘 (一社)コンピューターエンターテインメント協会理事  
長田 公平 (株)日経BP社代表取締役社長  
今林 顯一 経済産業省大臣官房審議官 (IT戦略担当)
- KYOTO CMEX 2012 オープニングレセプション  
9月21日(金)18:30～ 平安神宮会館  
コ・フェスタ側出席者：松谷 孝征 副委員長  
主催者側出席者：山田 啓二 京都府知事  
門川 大作 京都市長  
立石 義雄 京都商工会議所会頭  
齋藤 茂 KYOTO CMEX 実行委員長
- 第25回東京国際映画祭 オープニングセレモニー、レセプション  
10月20日(土)16:30～ 六本木ヒルズ  
コ・フェスタ側出席者：大谷 信義 実行委員長  
迫本 淳一 副委員長  
松谷 孝征 副委員長  
重延 浩 EP兼副委員長  
主催者側出席者：枝野 幸男 経済産業大臣  
依田 巽 第25回東京国際映画祭チアマン  
岡田 裕介 第25回東京国際映画祭 実行委員会会長  
高井 英幸 (公財)ユニジャパン理事長
- 第8回文化庁映画週間 平成24年度文化庁映画賞贈呈式  
10月20日(土)18:00～  
六本木ヒルズ グランドハイアット東京2階「コリアンダー」  
コ・フェスタ側出席者：迫本 淳一 副委員長  
松谷 孝征 副委員長  
主催者側出席者：近藤 誠一 文化庁長官  
依田 巽 第25回東京国際映画祭チアマン
- 国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2012 授賞式  
10月22日(月)18:00～ 東京プリンスホテル  
コ・フェスタ側出席者：依田 巽 副委員長  
松谷 孝征 副委員長  
重延 浩 EP兼副委員長  
主催者側出席者：樽床 伸二 総務大臣  
岸本 周平 経済産業大臣政務官  
井上 弘 実行委員長  
重村 一 副委員長兼EP  
小野 直路 副委員長
- 台場4マーケット合同オープニングセレモニー  
10月23日(火)10:00～ ホテルグランパシフィック LE DAIBA  
コ・フェスタ側出席者：依田 巽 副委員長  
主催者側出席者：今林 顯一 経済産業省大臣官房審議官 (IT戦略担当)  
宮川 正 経済産業省関東経済局局長  
多羅尾光睦 東京都港湾局長  
桑原 誠 財音楽産業・文化振興財団専務理事  
布川 郁司 (一社)日本動画協会理事長  
小泉 幸雄 臨海副都心まちづくり協議会事務局長  
大原 正行 (株)東京臨海ホールディングス 代表取締役社長  
國生 伸 ホテルグランパシフィック LE DAIBA 取締役社長兼総支配人
- 「日本ー香港間の地域協力」&「香港シネマ@TIFFCOM」レセプション(第25回東京国際映画祭関連企画)  
10月23日(火)17:45～  
コ・フェスタ側出席者：松谷 孝征 副委員長  
主催者側出席者：ジャック・ソー 香港貿易発展局会長  
古田 茂美 香港貿易発展局日本首席代表  
依田 巽 第25回東京国際映画祭チアマン
- TIFFCOM 2012 レセプション  
10月23日(火)19:00～ ホテルグランパシフィック LE DAIBA  
コ・フェスタ側出席者：松谷 孝征 副委員長  
重延 浩 EP兼副委員長  
主催者側出席者：依田 巽 第25回東京国際映画祭チアマン (公財)ユニジャパン理事長  
高井 英幸 第25回東京国際映画祭 実行委員会委員  
椎名 保 経済産業省商務情報政策局 文化情報関連産業課長  
伊吹 英明 総務省情報流通行政局 情報通信作品振興課長  
竹村 晃一
- デジタルコンテンツEXPO2012 授賞式・レセプション  
10月25日(木)17:15～ 日本科学未来館  
コ・フェスタ側出席者：大谷 信義 実行委員長  
主催者側出席者：足立 直樹 (一財)デジタルコンテンツ協会会長  
今林 顯一 経済産業省大臣官房審議官 (IT戦略担当)
- 第39回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール 授賞式・レセプション  
10月25日(木)17:15～ NHK放送センター  
コ・フェスタ側出席者：大谷 信義 実行委員長  
依田 巽 副委員長  
松谷 孝征 副委員長  
来賓：皇太子殿下  
主催者側出席者：樽床 伸二 総務大臣  
笠 浩史 文部科学副大臣  
村越 祐民 外務大臣政務官  
庄司 貞夫 東京都教育庁次長  
松本 正之 日本放送協会会長  
近藤 洋介 経済産業副大臣  
野口 昇 日本ユネスコ協会連盟理事長  
塩野 宏 放送文化基金理事長  
前田エレナ 国際交流基金理事  
櫻井 友行 ユニセフ東京事務所代表 (授賞順)  
平林 国彦
- 第29回ATP賞テレビグランプリ2012 授賞式  
12月12日(水)16:00～ 都市センターホテル  
コ・フェスタ側出席者：迫本 淳一 副委員長  
重延 浩 EP兼副委員長  
主催者側出席者：森田 高 総務大臣政務官  
松本 正之 日本放送協会会長  
井上 弘 日本民間放送連盟会長  
倉内 均 全日本テレビ番組製作社連盟 (ATP) 理事長

**広報 広報年間スケジュール／記者発表会、MWAM経済産業省表敬訪問**
**■広報年間スケジュール**

		内 容
6月		昨年に引き続き、SNS (Facebook, Twitter) にて継続的に情報を発信
7月	2日	コ・フェスタ2012開催決定、パートナーイベント募集開始プレスリリース
	17日	コ・フェスタ2012オフィシャルイベント連絡会
8月	8日	第1回実行委員会、コ・フェスタ2012ティザーサイトオープン
9月	上旬	ポスター、ガイドブック発行
	10日	コ・フェスタ2012オフィシャルウェブサイトオープン
	19日	コ・フェスタ2012記者発表会開催、開催プレスリリース、コ・フェスタ2012開幕リリース
10月	17日	MAN WITH A MISSION 経済産業省表敬訪問
	18日	MAN WITH A MISSION グランドセレモニー出演決定プレスリリース
	23日	4マーケット合同オープニングセレモニー開催、開催プレスリリース
	24日	コ・フェスタ2012グランドセレモニー開催
	25日	コ・フェスタ2012グランドセレモニー開催プレスリリース
3月	11日	第2回実行委員会
	下旬	コ・フェスタ2012記録映像DVD、実施報告書作成

**■コ・フェスタ2012記者発表会**

日 時：9月19日(水)

場 所：特例社団法人日本海外特派員協会 (FCCJ) メディアルーム

出席者：伊吹英明 経済産業省商務情報局メディア・コンテンツ課長  
重延 浩 エグゼクティブ・プロデューサー  
乃木坂46メンバー

内 容：伊吹課長よりコンテンツ産業の現状及び今後、国が取り組む方向性について説明があり、重延エグゼクティブ・プロデューサーは今年度初めての試みである4マーケット (TIMM、TIFFCOM、TIAF、CMT) を統合し、お台場で同時期に開催することについて「コ・フェスタ創成期の主要目的である『世界初のコンテンツ産業を統合するフェスティバル』を本格的に実現する」とコ・フェスタ2012のコンセプトを述べた。また、4マーケットの統合を機に10月24日にお台場のZeep DiverCity TOKYO (ゼップダイバーシティー東京) で開催するコ・フェスタ2012グランドセレモニーでライブパフォーマンスを行う、乃木坂46のメンバーが登場し今後の海外展開について意気込みを語った。


**■MAN WITH A MISSION グランドセレモニー出演依頼及び経済産業省表敬訪問**

日 時：10月17日(水)

場 所：経済産業省

出席者：永塚誠一 経済産業省商務情報局長  
松谷孝征 コ・フェスタ実行委員会 副委員長  
MAN WITH A MISSION メンバー

内 容：MAN WITH A MISSION のメンバーが10月17日(水)に経済産業省を訪問。商務情報政策局 永塚局長、松谷副委員長からの出演要請に応じた。グランドセレモニー出演について、松谷副委員長と覚書を交わした。





## 広報 制作物



### ■紙媒体

#### ●ポスター

数量：1,000枚

仕様：フルカラー

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁、自治体、団体、コンテンツ産業教育機関など



#### ●オフィシャルガイド

数量：60,000部（日本語版）20,000部（英語版） 合計 80,000部

仕様：蛇腹折り フルカラー

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁、自治体、団体、コンテンツ産業教育機関など



### ■映像

#### ●公式映像記録DVD

数量：200枚

配布先：実行委員会、百人委員会、関連イベント、関連省庁、自治体、団体など



### ■Web

#### ●コ・フェスタ2012オフィシャルウェブサイト

URL：http://www.cofesta.jp/

言語：日本語、英語

facebook：http://www.facebook.com/CoFesta

twitter：cofesta\_2012

## 広報 メディア露出状況

期 間：2011年4月1日～2012年3月31日  
 件 数：TV 7件、新聞 51件、雑誌 1件、WEB 268件

### 1. コ・フェスタ2012記者発表会

日 程：2012年9月19日(水)  
 内 容：国内外の記者に対して、コ・フェスタ2012の意義と概要を発表。  
 露 出 件 数：TV 1件、新聞 43件、WEB 160件、海外ワイヤー 422件  
 主な露出媒体：テレビ東京「乃木坂って、どこ?」、SANKEI EXPRESS、日経産業新聞、スポーツニッポン、ニッカンスポーツ、東京中日スポーツ、中日スポーツ、西日本スポーツ、デイリースポーツ、スポーツ報知、東京スポーツ、中京スポーツ、大阪スポーツ、九州スポーツ、日刊ゲンダイ、The New York Times、The Straits Times、愛媛新聞、上毛新聞、秋田魁新報、静岡新聞、山形新聞、映像新聞、文化通信、ミュージック・リポート、電通報、時事ドットコム、47NEWS、So-net ニュース、サーチナ BARKS、アニメ!アニメ!ピズ!、nikkansports.com、スポニチ(ウェブ)、ANN NEWS(ウェブ)、日テレNEWS24(ウェブ)、デイリースポーツonline、ファミ通.com、文化通信.com、中日スポーツ(ウェブ)、YOMIURI ONLINE、フォーカス台湾(ウェブ)、CDJournal.com、Musicman-NET、ナタリー、リッスンジャパン、Yahoo!ニュース、goo ニュース、COM 芸能ニュース、BIGLOBE ニュース、goo ニュース、Infoseek ニュース、TNC ニュース、Yahoo!ファイナンス、デイリースポーツonline、ニコニコニュース、楽天 woman、@nifty ニュース、livedoor ニュース、mixi ニュース、MSN トピックス、pixiv ニュース、マイナビニュース、beamie 等

### 2. MAN WITH A MISSION 経済産業省訪問関連露出

日 程：2012年10月17日(水)  
 内 容：「MAN WITH A MISSION」が経済産業省を訪問し、グランドセレモニーへの出演依頼を受諾。  
 露 出 件 数：TV 4件、新聞 1件、WEB 38件  
 主な露出媒体：フジテレビ「めざましテレビ」、日本テレビ「ZIP!」「news every.」、TBS「情報7 days ニュースキャスター」、TOKYO HEADLINE、テレビ朝日 WEB ニュース、BARKS、オリコン、スポーツ報知(ウェブ)、サンケイスポーツ(ウェブ)、リッスンジャパン、Musicman-NET、Billboard JAPAN、ナタリー、エキサイト・ミュージックニュース、OTOTOY ニュースとライブ、YAHOO! ニュース、MSN ニュース、ライブドアニュース、CoCaCola Happy Teens Club、LISMO auone MUSIC NEWS、mixi ニュース、NACK5 ニュース、ニコニコ動画ニュース、エキサイトニュース、BIGLOBE ニュース、infoseek 楽天ニュース、アマーバニュース、goo 音楽ニュース、サーチナニュース、SPACESHOWER TV ニュース



「MAN WITH A MISSION」が経済産業省を訪問し、グランドセレモニーへの出演依頼を受諾。

Information  
 MAN WITH A MISSION 公式サイト  
 日本テレビ「ZIP!」  
 フジテレビ「めざましテレビ」  
 TBS「情報7 days ニュースキャスター」  
 TOKYO HEADLINE  
 テレビ朝日「news every.」  
 世界最大規模の総合型ファンクラブ見本市  
 「CoFesta 2012」開催

関連リンク  
 CoFesta 2012  
 MAN WITH A MISSION

## 広報 メディア露出状況



### 3.4 マーケット合同オープニング・セレモニー

日 程：2012年10月23日（火）  
 内 容：オフィシャルイベントの4マーケット（第9回東京国際ミュージックマーケット [TIMM]、TIFFCOM 2012 Marketplace for Film & TV in Asia [TIFFCOM]、東京国際アニメ祭 2012 秋 [TIAF]、CREATIVE MARKET TOKYO 2012 [CMT]）がお台場で統合して開催されることを受け、合同オープニング・セレモニーを開催。

露 出 件 数：新聞1件、雑誌1件  
 主な露出媒体：オリコンスタイル、文化通信



### 4. コ・フェスタ2012グランドセレモニー

日 程：2012年10月24日（水）  
 内 容：国内のコンテンツ関係者をはじめ、海外からの業界関係者、クリエイター、バイヤー、メディア、政府関係機関など、約1,000人以上が参加し国際的なセレモニー・交流会を開催。「MAN WITH A MISSION」「乃木坂46」のライブを実施した。

露 出 件 数：TV 2件、新聞 6件、WEB 70件  
 主な露出媒体：フジテレビ「めざましテレビ」、日本テレビ「PON!」、ニッカンスポーツ、日刊自動車新聞、ナタリー、nikkansports.com、Billboard JAPAN、リッスンジャパン、ORICON STYLE、WHAT'S IN? WEB、BARKS、Musicman-NET、芸能ニュースラウンジ、文化通信、@peps! ミュージック、ピーネスト、livedoor ニュース、SPACE SHOWER TV、Yahoo! ニュース、スペースシャワーTV プラス、ニコニコニュース、goo ニュース、エキサイトニュース、@nifty ニュース、au one ニュース、BIGLOBE ニュース、朝日新聞デジタル、girlswalker.com、サーチナ、だんぜん!!TV、テレビファン・ウェブ、読めるも、Ameba News、goo 音楽、Infoseek ニュース、楽天woman、NACK5 ニュース、RANKING NEWS、オリコンミュージックストア、ネタリか、楽天woman、東放学園 エンタメ業界ニュース、LISMO、Coca-Cola Park、mixi ニュース、MSN トピックス、夕刊アメバニュース、日経TRENDY、マピオンニュース、文化通信.com、旬缶



乃木坂46とオオカミバンド、<コフェスタ2012グランドセレモニー>で披露





---

## コ・フェスタ (JAPAN 国際コンテンツフェスティバル) 2012 実施報告書

発行日：2013年3月  
発行：コ・フェスタ実行委員会  
デザイン監修：(株)サムライ  
Printed in JAPAN  
© VIPO

住所：東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8F  
NPO法人映像産業振興機構 (VIPO) 内  
電話：03-3543-7321  
F A X：03-3543-7322  
U R L：http://www.cofesta.jp/  
Eメール：info@cofesta.jp

